

重点分野1 栄養・食生活

事業名	1	フレイル予防事業(栄養・食生活)	所管課	地域包括支援課				
内容	主に高齢者に対するフレイル（介護予防）事業のうち、栄養をテーマとしたプログラムについて、管理栄養士等が講座を行う。またフレイルハイリスク者へ個別支援を行う。							
期待する効果	高齢期の必要な栄養に関する周知により、低栄養を防ぎ、フレイルを予防する							
関係課 関係機関 (民間企業含む)	認定栄養ケア・ステーション柏市連絡協議会、地域包括支援センターなど			ライフステージ	乳幼児期・ 学童期・ 思春期	青壮年期	高齢期	
実績値 及び 次年度指標	項目			目標増減	R5実績	R6実績	R7実績	R8指標
	①	フレイル予防・健康づくり出前講座参加者数		↑	176人	255人		
	②	地域包括支援センター主催の教室参加者数		↑	56人	195人		
	③	フレイルハイリスク者への個別支援件数		↑	22件	29件		
評価	令和6年度はサロンなどの活動が活発化したことから、フレイル予防出前講座や地域包括支援センター主催の教室開催や参加者数が増加した。フレイルチェック等からのハイリスク者個別支援数も増加し、自身の心身の衰えの気づきや予防行動につなげることができた。令和7年度も同様に、各地域でフレイルチェックや出前講座、地域包括支援センター主催事業を実施し、市民の意識・行動変容（栄養の改善）につながるよう働きかけていく。							
今後の方向性	今後もフレイル予防の中での「栄養」をテーマとして講座を継続的に開催していく。ハイリスク者への集団支援（フレイルチェックや講座）、個別支援を継続する。							

事業名	2	給食施設指導事業	所管課	総務企画課				
内容	①個別指導（各施設を個別に巡回し、現地指導を実施。電話、来所による相談） ②集団指導（テーマに応じ職種別、施設種類別に研修会を開催） ③調査報告（各給食施設の運営・栄養管理状況を把握するため年2回調査実施）							
期待する効果	・適切な栄養管理を行う給食施設の増加 ・啓発媒体活用増加							
関係課 関係機関 (民間企業含む)	他課（学校給食課・保育運営課） 柏市保健所管内集団給食研究会			ライフステージ	乳幼児期・ 学童期・ 思春期	青壮年期	高齢期	
実績値 及び 次年度指標	項目			目標増減	R5実績	R6実績	R7実績	R8指標
	①	給食施設指導件数（個別巡回）		↑	80件	87件		
	②	「肥満及びやせに該当する者の割合」を把握している給食施設の割合		↑	85.4%	86.5%		
	③							
評価	健康増進法18条に基づき、令和4年度から令和6年度までの3年間で全施設を巡回する計画を立て個別巡回を実施した。適切な栄養管理につながるよう、特に食事の提供エネルギー量の評価にあたっては、肥満及びやせに該当する者の割合を確認し、増加傾向にある施設や該当者が多い施設へ改善対策の指導・助言を行なった。							
今後の方向性	令和7年度から令和9年度までの3年間で全施設を巡回する計画を立て個別巡回を実施する。給食施設に対して、適切な栄養管理について助言し、献立作成や栄養教育に反映させる。また、啓発媒体を配布する等、適正体重を維持するための知識の普及に努めていく。							

重点分野1 栄養・食生活

事業名	3 健康づくり普及啓発事業(栄養・食生活)	所管課	健康増進課・学校教育課			
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント, 健康教育の中で栄養・食生活に関する啓発を実施。出前講座の実施 ・野菜が入ったメニューの提供, 健康情報の発信等に協力できる柏市内の飲食店等を「野菜を食べよう柏協力店」に認定。市はこの店舗の増加及び市民へ周知を行い, 店舗の利用促進と合わせ, 野菜摂取の増加に向けた啓発を行う。 ・柏市民健康づくり推進員による野菜摂取度測定(ベジミル)の実施 					
期待する効果	<ul style="list-style-type: none"> ・正しい食生活の知識の普及 ・地域の関係団体等の社会資源を活用及び野菜摂取の促進 					
関係課 関係機関 (民間企業含む)	市内小中学校, 柏市保健所管内調理師会, 野菜を食べよう協力店, 柏市民健康づくり推進員連絡協議会, 沼南支所, 図書館	ライフステージ	乳幼児期・ 学童期・ 思春期	青壮年期	高齢期	
			○	○	○	
実績値 及び 次年度指標	項目	目標増減	R5実績	R6実績	R7実績	R8指標
	① 啓発実施者数(栄養・食生活)(小中学校含む)	↑	520人	1,194人 (小学校6校)		
	② 「野菜を食べよう柏協力店」の増加	↑	57	55		
	③ 野菜摂取度測定者数	↑	—	—		
	④ 柏市民健康づくり推進員による各地域での開催	↑	—	—		
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館や沼南支所ロビーでの展示による啓発, 商業施設, 市実施のイベント内でのポスター掲示やリーフレット等の配布による啓発活動等, さまざまな場面を捉え啓発を実施。また依頼の健康教育・出張出前講座では, 対面研修を実施し, より直接的な啓発教育の実施することができている。 ・柏市保健所管内調理師会理事会, 食品衛生協会の講習会, 柏市ホームページ等において「野菜を食べよう柏協力店」について周知を行ったことで店舗数は微増している。 ・「野菜を食べよう柏協力店」について市民に周知を行い, 店舗の利用促進及び野菜摂取増加につながる取り組みが必要である。 					
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・「野菜を食べよう柏協力店」に関する取組の理解と, 協力店の利用促進に向けた取組と合わせて, 野菜摂取増加に向けた効果的な周知・啓発を行う。 ・9月の健康増進月間にあわせた図書館及び沼南庁舎での企画展示における掲示を行う。 ・若い世代における野菜摂取の増加の取り組みとして, 柏市民健康づくり推進員が主催する「母と子のつどい」において, 野菜摂取に関する講話と合せて, 野菜摂取を啓発する食品用ジッパーを配付し, 野菜摂取の増加に向けた啓発を実施する。 					

事業名	4 柏市立保育園の給食提供	所管課	保育運営課			
内容	こどもの発育・発達を支え, 望ましい食習慣, 生活習慣をつくるため, 生きた教材となる給食を提供する。					
期待する効果	咀嚼や嚥下機能の発達に応じて食べ物に親しみながら興味や関心を持ち, 食事から美味しく栄養を摂取できる。食具の使い方を含め, 自分で食べる喜びを知り, 人と食べることを楽しむ気持ちを持つことができる。					
関係課 関係機関 (民間企業含む)	なし	ライフステージ	乳幼児期・ 学童期・ 思春期	青壮年期	高齢期	
			○			
実績値 及び 次年度指標	項目	目標増減	R5実績	R6実績	R7実績	R8指標
	① 生きた教材となる給食実施回数(公立保育園)	—	289	292		
	②					
	③					
評価	各家庭の食習慣や子どもの咀嚼機能に大きな差があり, 極端な偏食傾向のある園児が増加しているように見受けられる。苦手なものも食べようとする意欲を持ち, 好き嫌いなく食べることができるよう給食時間などにおける指導を継続しながら, 安全安心なおいしい給食提供に努める。					
今後の方向性	心身の成長や健康の保持増進に寄与できるよう, 生きた教材となる給食提供を継続する。					

重点分野1 栄養・食生活

事業名	5 学校給食提供事業	所管課	学校給食課				
内容	食事量や適切な栄養バランスを自分の目で認識できる生きた教材となる給食を提供する						
期待する効果	心身の成長や健康の保持増進の上で望ましい栄養や食事のとり方を理解し、自ら管理する能力を身につける						
関係課 関係機関 (民間企業含む)	学校教育課	ライフステージ	乳幼児期・ 学童期・ 思春期	青壮年期	高齢期		
			○				
実績値 及び 次年度指標	項目	目標増減	R5実績	R6実績	R7実績	R8指標	
	① 生きた教材となる給食実施回数(小学校)	—	182	183			
	② 生きた教材となる給食実施回数(中学校)	—	179	182			
	③						
評価	給食の喫食状況には個人差があり、嫌いなものを残し好きなものはおかわりするなどといった現状である。苦手なものも食べようとする意欲を持ち、栄養バランスを考えて食べられるようになるよう給食時間における指導を継続し、見本となる給食の提供に努める。						
今後の方向性	児童・生徒の心身の成長や健康の保持増進に寄与できるよう、生きた教材となる給食提供を継続する。						

事業名	6 【再掲】給食施設指導事業	所管課	総務企画課				
内容	①個別指導(各施設を個別に巡回し、現地指導を実施。電話、来所による相談) ②集団指導(テーマに応じ職種別、施設種類別に研修会を開催) ③調査報告(各給食施設の運営・栄養管理状況を把握するため年2回調査実施)						
期待する効果	<ul style="list-style-type: none"> 利用者に応じた食事提供をしている給食施設の増加 給食施設の食品構成における野菜、果物摂取量の増加 健康に配慮したヘルシーメニューの提供増加 啓発媒体活用の増加 						
関係課 関係機関 (民間企業含む)	他課(学校給食課・保育運営課) 柏市保健所管内集団給食研究会	ライフステージ	乳幼児期・ 学童期・ 思春期	青壮年期	高齢期		
			○	○	△		
実績値 及び 次年度指標	項目	目標増減	R5実績	R6実績	R7実績	R8指標	
	① 給食施設指導件数(個別巡回)	↑	80件	87件			
	② 栄養成分の表示を行っている給食施設の割合	↑	96%	97.5%			
	③ 管理栄養士・栄養士を配置している給食施設(※病院、介護老人保健施設を除く)の割合	—	75%	75%			
評価	令和4年度から令和6年度までの3年間で全施設を巡回する計画を立て個別巡回を実施した。給食施設の利用者に対し、献立表の栄養成分表示の他、健康や栄養に関する情報の提供を行い、知識の普及に努めるよう助言した。						
今後の方向性	個別巡回での食品構成や野菜・果物の摂取量についての聞き取りに力を入れ、必要に応じて助言する。各施設が適切な食事を提供すること、また栄養成分表示や栄養教育の実施により、健康に関する啓発をすることで、家庭での食事を見直すきっかけとする。事業所給食においては、ヘルシーメニューの提供を促す。また、管理栄養士・栄養士の配置状況が未配置の施設においては、管理栄養士又は栄養士の配置が促進されるよう助言を行う。						

重点分野1 栄養・食生活

事業名	7 栄養改善事業	所管課	総務企画課			
内容	栄養関係団体育成（栄養・健康づくりを担う関係団体の育成） 講演会の企画（給食施設従事者研修会）					
期待する効果	<ul style="list-style-type: none"> ・関係課，関係団体との連携により幅広い世代への啓発 ・利用者に応じた食事提供をしている給食施設の増加 					
関係課 関係機関 (民間企業含む)	柏市保健所管内調理師会 柏市保健所管内集団給食研究会	ライフステージ	乳幼児期・ 学童期・ 思春期	青壮年期	高齢期	
			○	○	△	
実績値 及び 次年度指標	項目	目標増減	R 5実績	R 6実績	R 7実績	R 8指標
	① 研修会参加施設数（延べ数）	↓	157施設	138施設		
	②					
	③					
評価	令和6年度給食施設従事者研修会は，柏市保健所管内集団給食研究会と共催で「日本人の食事摂取基準2025年版」をテーマに実施。あわせて情報交換会を行い，各給食施設における栄養管理の悩みなどを共有する機会とした。なお，令和5年度はオンライン開催により参加施設数が増加したが，令和6年度は参加施設数が減少した。これは研修の対象者を栄養士に限定したことや会場に参集しての開催であったことが影響していると考えられる。					
今後の方向性	給食施設が抱える課題の傾向を把握し，それに基づき研修会のテーマを選定する等，研修会の企画・実施において関係部署や関係団体との連携を強化する。これにより，顔の見える関係づくりを促進するとともに，幅広い年代の方への効果的な啓発につなげる。また，より多くの方に参加してもらえるよう研修会の開催方法についても検討を進める。					

事業名	8 母子保健食育	所管課	母子保健課			
内容	<p><ママパパサロン・栄養>妊婦とそのパートナーを対象に，講話を通じた妊娠期の食生活支援を行う。</p> <p><離乳食相談会，幼児健康診査，地域食育活動> 乳幼児期の保護者を対象に，講話や栄養相談を通じた食生活支援を行う。</p>					
期待する効果	「家族そろってバランスのとれた食事を規則正しくとる健康的な食習慣」を定着させ，健康づくりの意識付けをする。					
関係課 関係機関 (民間企業含む)	子育て支援課	ライフステージ	乳幼児期・ 学童期・ 思春期	青壮年期	高齢期	
			○	○		
実績値 及び 次年度指標	項目	目標増減	R 5実績	R 6実績	R 7実績	R 8指標
	① 3歳児健康診査における主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が1日2回以上の人の割合（幼児健診問診票より）	横ばい	79.1%	78.2%	77.8% (~9月)	
	②					
	③					
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・3歳児健康診査における主食・主菜・副菜をそろえた食事が1日2回以上の人の割合は横ばい。 ・幼児健康診査で，栄養に課題のある児に対し健康的な食生活についての説明や助言を行った。また，保護者が適切な栄養の知識得られるよう，バランスの良い食事について，電子親子手帳やリーフレットを活用し啓発を行った。 					
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・各母子保健事業を通じ，栄養相談や啓発を実施する。 ・子育て支援施設と連携し，市民が身近な場所で栄養相談ができる場所を増やす。 					

重点分野1 栄養・食生活

事業名	9 柏市立保育園における食育	所管課	保育運営課			
内容	乳幼児期からの適切な食事の取り方や望ましい食習慣の定着を目指し食育を行う。					
期待する効果	一例として保育園の給食レシピを市のホームページで紹介する取組みにより、バランスのよい、バリエーション豊富なメニューを家庭でも作ることができる。保育園の給食の話題をきっかけに子どもと食について話すきっかけとなり、バランスのよい食事をとる意識づけとなることが期待される。					
関係課 関係機関 (民間企業含む)	なし	ライフステージ	乳幼児期・ 学童期・ 思春期	青壮年期	高齢期	
			○	○		
実績値 及び 次年度指標	項目	目標増減	R5実績	R6実績	R7実績	R8指標
	① 保育園の給食レシピ年間閲覧数	↑	1650	1504		
	②					
	③					
評価	保育園の給食への関心は高く、給食のサンプル掲示もとても参考になるという声も多い。また、給食のレシピがほしいという要望もあるため、レシピ配付コーナーを設けている保育園もある。ホームページに掲載することで、手軽に給食レシピの情報を入手することができるので、家庭での食事の参考になるものとする。					
今後の方向性	これまで配付してきたレシピの整理や新メニューのレシピを定期的にホームページで更新できるようにスケジュールを立てて発信する。 本ページへアクセスしやすい工夫を検討する。 この事業の成果をどのように評価するべきか検討していく。					

事業名	10 地産地消推進事業	所管課	農政課			
内容	道の駅しょうなんの整備や、地元農産物を活用したイベントの実施等、新鮮で安全安心な柏産農産物を身近に感じてもらう取組みにより、地産地消を推進する。					
期待する効果	野菜・食への興味を持ってもらうことで、野菜摂取量の増加を図り、バランスの良い食生活につなげる。					
関係課 関係機関 (民間企業含む)	アグリ・コミュニケーションかしわ委員会	ライフステージ	乳幼児期・ 学童期・ 思春期	青壮年期	高齢期	
			○	○	○	
実績値 及び 次年度指標	項目	目標増減	R5実績	R6実績	R7実績	R8指標
	① アグリ・コミュニケーションかしわ委員会PR活動実績 (PRイベント及び後援実施件数)	↑	9	8		
	② アグリ・コミュニケーションかしわ委員会パンフレット配布数	↑	7,750	14,665		
	③					
評価	①R5, R6ともにイベント実施は5件だったが、R6は農業団体への後援件数が1件減。 ②R6は市内小学校や近隣センターへの配付が多くあった。					
今後の方向性	地場農産物を身近に感じることで、食への興味・関心につなげられるよう、引き続き、地産地消推進イベントの実施や、柏産農産物についての情報発信を行う。					

重点分野1 栄養・食生活

事業名	11 学校における食育事業	所管課	学校給食課			
内容	柏市学校給食における食育方針に基づき、各校で食育を実施する					
期待する効果	食の大切さを学び、生きる力と豊かな人間性を育み、生涯にわたって心身ともに健康で心豊かな生活が送れるようになる					
関係課 関係機関 (民間企業含む)		ライフステージ	乳幼児期・ 学童期・ 思春期	青壮年期	高齢期	
			○			
実績値 及び 次年度指標	項目	目標増減	R5実績	R6実績	R7実績	R8指標
	① 全体計画を作成し、食育を実施している学校数	継続	63	63		
	② 食育月間(11月)における地場産物に係る食に関する指導の平均取組回数	↑	—	12.6		
	③		(R4年度)			
評価	<ul style="list-style-type: none"> 市内全小中学校で、食に関する指導の全体計画を作成し、食育を実施している。引き続き、毎年、計画を見直し、全教職員で課題を共有し取り組んでいく必要がある。 国や千葉県の地場産物に係る食に関する指導の取組回数の目標値は12回以上である。現在、食育月間は目標に達している。今後も地場産物の給食への活用や給食時間・掲示物等で啓発し、児童・生徒の地場産物に対する理解度を高めていく。 					
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 各校の食に関する実態や課題を把握し、各年度における重点目標や評価方法を明確にして取り組んでいく。また、校内だけでなく中学校区で課題等を共有し地域全体で推進していく。 地場産物に係る食に関する指導については各校での取り組みに加え、学校栄養士会の研修において地場産物を使用した献立や資料等を作成し、全校で活用することで底上げを図る。 					

事業名	12 買い物困難者への支援	所管課	高齢者支援課			
内容	見守り活動を推進するとともに、買い物が不便な地域に、市と協定を締結した事業者による移動スーパーを運行します。					
期待する効果	買い物が不便な地域への支援と、見守り活動を推進する					
関係課 関係機関 (民間企業含む)	株式会社カスミ	ライフステージ	乳幼児期・ 学童期・ 思春期	青壮年期	高齢期	
			○	○	○	
実績値 及び 次年度指標	項目	目標増減	R5実績	R6実績	R7実績	R8指標
	① 協定を締結した事業者による移動スーパーの実施	-	実施	実施		
	②					
	③					
評価	令和6年度も前年度に引き続き、販売場所の再選定などを行いながら、株式会社カスミによる移動スーパーの運行を行った。					
今後の方向性	見守り活動も含めていることから、今後も支援が必要なかたに支援が届けられるよう買い物困難者へ引き続き支援を行っていく。					

重点分野1 栄養・食生活

事業名	13 公共交通空白不便地域へのコミュニティ交通運行	所管課	交通政策課			
内容	<p>公共交通空白不便地域における移動手段の確保を目的として、市が主体となるコミュニティ交通「ワニバス（市役所ルート、南部ルート）やオンデマンド交通である「カシワニクル」を運行する。</p> <p>また、地域が主体となるコミュニティ交通について、導入サポートの実施や、「買い物支援タクシー（とねっこタクシー、やよいタクシー）」や「柏ビレジコミュニティバス」の運行を補助する。</p>					
期待する効果	<ul style="list-style-type: none"> ・移動手段を持たない交通弱者の日常生活（買い物、通院等）における移動手段の確保 ・高齢者の外出機会の創出 					
関係課 関係機関 (民間企業含む)	市主体：沼南タクシー， 染谷交通， 阪東自動車 地域主体：各町会， 地域団体	ライフステージ	乳幼児期・ 学童期・ 思春期	青壮年期	高齢期	
				○	○	
実績値 及び 次年度指標	項目	目標増減	R5実績	R6実績	R7実績	R8指標
	① ワニバス（南部ルート）	↑	37,557人	47,982人		
	② ワニバス（市役所ルート）	↑	13,833人	63,062人		
	③ カシワニクル	↑	11,410人	12,441人		
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・市主体のコミュニティ交通については、全体として利用者数は増加傾向にある。 ・地域主体のコミュニティ交通については、運行の目安となる必要利用者数を満たしており、利用が図られている。一方、公共交通空白不便地域への「コミュニティ交通導入の手引き」の配布や、希望のあった地域への説明等を通じて周知しているものの、浸透が浅い。 					
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・市主体のコミュニティ交通については、公共施設へのアクセス性向上や既存の公共交通で対応しきれない地域の移動手段確保のため、運行を継続する。また、ワニバス（南部ルート）について、需要調査等を踏まえた全体的なルート・ダイヤの見直しを検討する。 ・地域主体のコミュニティ交通については、公共交通空白不便地域の町会へ市内の先事例の体験談など、導入過程をイメージしやすい資料の配布や、必要に応じて説明に出向き、住民に「コミュニティ交通導入の手引き」を広く認知してもらい、移動手段の困りごとを相談しやすい環境を整えていく。 					

重点分野2 身体活動・運動

事業名	14 各種スポーツ教室の開催	所管課	共生・交流推進センター			
内容	ホームタウンチームと連携したスポーツ教室の開催、各チームが実施する学校訪問事業の仲介など、小中学生がトップアスリート等と触れ合ったり、直接指導を受ける機会を創出していくことで、低年齢期からスポーツに親しみ、運動習慣を定着させるきっかけとなる取り組みを実施していく。					
期待する効果	市のスポーツを活かしたまちづくりの推進 参加者の技術向上やホームタウンチームである柏市への愛着を深めること					
関係課 関係機関 (民間企業含む)	柏レイソル, ENEOSサンフラワーズ, NECグリーンロケッツ東葛, YBC柏, 千葉ロッテマリーンズ, 千葉ジェッツ	ライフステージ	乳幼児期・ 学童期・ 思春期	青壮年期	高齢期	
			○	○	○	
実績値 及び 次年度指標	項目	目標増減	R5実績	R6実績	R7実績	R8指標
	① 各種市主催スポーツ教室の参加人数	↑	538人	490人	609人	
	②					
	③					
評価	学校訪問事業としてYBC柏と連携したTボール教室を7校(419名)で実施。また、市内中学校のバスケットボール部員を対象としたバスケットボール教室をENEOSサンフラワーズ及び千葉ジェッツと連携して実施(190名)。その他、ホームタウンチームが独自に実施しているスポーツ教室や学校訪問授業等の案内、周知に協力を行った。					
今後の方向性	引き続きホームタウンチームと連携し、幅広い年齢層を対象に各種スポーツ教室を開催することで、市民が柏市への愛着を深めるとともに、スポーツへの関心や参加機会を増進し、スポーツを活かしたまちづくりを推進する。					

事業名	15 スポーツ推進委員活動	所管課	スポーツ課			
内容	スポーツ推進委員派遣事業(「指導者の育成」, 「団体の独立」を目的とし、地域や学校等で実施するスポーツ大会や行事にスポーツ推進委員を派遣し運営のサポートを行っています。)					
期待する効果	地域スポーツの推進役として、日ごろスポーツをしない人への動機づけなどを行い、スポーツ実施率の向上を図る。参加者増加と、スポーツ実施率の向上。					
関係課 関係機関 (民間企業含む)	柏市スポーツ推進委員協議会	ライフステージ	乳幼児期・ 学童期・ 思春期	青壮年期	高齢期	
			○	○	○	
実績値 及び 次年度指標	項目	目標増減	R5実績	R6実績	R7実績	R8指標
	① スポーツ推進委員活動参加者数	↓	2,770人	2,689人		
	②					
	③					
評価	実施行事の周知をなるべく行ってきたが、周知力の限界を感じる。多方面にアピールできる新しい媒体等の導入も視野に入れる。 R4,5年度と回復傾向にあったが、R6年度は思うように参加者数が伸びなかった。例年通りの事業やマンネリ化を防ぐことができれば、参加者数増加も見込める。					
今後の方向性	実施行事ごとのイベント周知に力をいれて、以前とは違った方法でアピールできれば、イベントも盛況になるはず。コロナ禍以前と比べ同等数以上の方々に参加していただけるよう、幅広く参加者を募る工夫に取り組み、地域スポーツの推進に一層取り組む。					

重点分野2 身体活動・運動

事業名	16 フレイル予防事業（身体活動・運動）	所管課	地域包括支援課			
内容	主に高齢者に対するフレイル（介護）予防事業のうち、身体活動をテーマとしたプログラムについて、リハビリテーション専門職、運動トレーナー等が講座を開催する。					
期待する効果	高齢期の必要な運動及び身体活動に関する周知により、身体機能低下を防ぎ、フレイルを予防する					
関係課 関係機関 (民間企業含む)	柏市在宅リハビリテーション連絡会、柏市社会福祉協議会、地域包括支援センターなど	ライフステージ	乳幼児期・ 学童期・ 思春期	青壮年期	高齢期	
				△	○	
実績値 及び 次年度指標	項目	目標増減	R5実績	R6実績	R7実績	R8指標
	① フレイル予防・健康づくり出前講座参加者数	↑	1,192人	1,353人		
	② 地域包括支援センター主催の教室参加者数	↑	1,356人	1,228人		
	③ フレイルハイリスク者への個別支援件数	↑	33件	32件		
評価	令和6年度はサロンなどの活動が活発化したことから、フレイル予防出前講座や地域包括支援センター主催の教室開催や参加者数が増加した。フレイルチェック等からのハイリスク者個別支援数も増加し、自身の心身の衰えの気づきや予防行動につなげることができた。令和7年度も同様に、各地域でフレイルチェックや出前講座、地域包括支援センター主催事業を実施し、市民の意識・行動変容（身体活動の促進）につながるよう働きかけていく。					
今後の方向性	今後もフレイル予防の中での「運動」をテーマとして講座を継続的に開催していく。ハイリスク者への集団支援（フレイルチェックや講座）、個別支援を継続する。					

事業名	17 ウォーキング推進事業	所管課	健康増進課			
内容	市民が歩きやすい環境をつくるために、ウォーキングマップの活用促進を展開する					
期待する効果	「歩くことが楽しい」「達成感がある」と感じる市民が増え、日常的に歩こうとする人が増える。普段あまり歩かない人でも、歩数記録やマップをきっかけに「試しに歩いてみよう」と行動に移しやすくなり、継続的に歩く人が増える。					
関係課 関係機関 (民間企業含む)	市民ウォーキング団体、千葉県ウォーキング協会等	ライフステージ	乳幼児期・ 学童期・ 思春期	青壮年期	高齢期	
			○	○	○	
実績値 及び 次年度指標	項目	目標増減	R5実績	R6実績	R7実績	R8指標
	① ワニFit新規インストール数	↑	—	—		
	② ワニFitアクティブユーザー数	↑	—	—		
	③ 柏市民健康づくり推進員による各地域での開催	↑	—	—		
評価	令和7年度新規事業。前身のウォーキングパスポート事業をアプリによるデジタル媒体化したことで、若い世代の利用者を取り込めること、コンスタントに健康に関する情報発信ができること、健康及び運動意識の向上を目指す。					
今後の方向性	日常的な身体活動量の増加に向けて、「歩数」を意識するような働きかけ、環境整備を行う。若い世代を含めた幅広い世代に、歩くことへの興味関心をもってもらえるようなツールの具体化に向けた取り組みを進める。現在実施している健康相談等で運動勧奨の一環として提案していく。					

重点分野2 身体活動・運動

事業名	18 健康づくり普及啓発事業（身体活動・運動）	所管課	健康増進課			
内容	イベント、健康教育の中で運動習慣に関する啓発を実施。「運動に関するリーフレット」等を配付、出前講座の実施。テーマだけでなく、生活習慣病予防を含めた幅広い内容で実施。柏市民健康づくり推進員主催の講座の実施、健康アプリ「ワニFit」の普及啓発。					
期待する効果	個々の健康状態に適した運動を継続できるようになる					
関係課 関係機関 (民間企業含む)	柏市民健康づくり推進員連絡協議会、沼南支所、図書館	ライフステージ	乳幼児期・ 学童期・ 思春期	青壮年期	高齢期	
			○	○	○	
実績値 及び 次年度指標	項目	目標増減	R5実績	R6実績	R7実績	R8指標
	① 啓発実施者数（身体活動・運動）	↑	447人	422人		
	② 柏市民健康づくり推進員による各地域での開催	↑	—	—		
	③					
評価	図書館や沼南支所ロビーでの展示による啓発、商業施設、市実施のイベント内でのポスター掲示やリーフレット等の配布による啓発活動等、さまざまな場面を捉え啓発を実施。また依頼の健康教育・出張出前講座では、対面研修を実施し、より直接的な啓発教育の実施することができている。					
今後の方向性	幅広い層への発信型の健康普及啓発と関心の高い層への直接的な啓発教育を組み合わせるとともに、1項目だけでなく、複数項目を関連付けた生活習慣病予防としての健康教育の展開など、効果的かつ効率的な健康づくり普及啓発を行う					

事業名	19 保健事業利用費助成事業（運動事業）	所管課	健康増進課			
内容	18歳以上の柏市国保被保険者と後期高齢者医療保険被保険者に対し、申請に基づき保健事業利用券を年間8枚交付（1枚1,000円相当）。はり等施術事業、お口のクリーニング事業、運動事業に利用できる。 運動事業は、運動習慣の獲得及び継続を支援するため、市の指定を受けた運動施設で入会時にかかる費用や運動指導・運動教室の利用費用を助成する。					
期待する効果	被保険者の健康の保持増進					
関係課 関係機関 (民間企業含む)	柏市フィットネス振興会 市内の運動施設 スポーツ課	ライフステージ	乳幼児期・ 学童期・ 思春期	青壮年期	高齢期	
				○	○	
実績値 及び 次年度指標	項目	目標増減	R5実績	R6実績	R7実績	R8指標
	① 運動事業利用者数（国保）	↓	435	433		
	② 運動事業利用者数（後期）	↑	373	398		
	③					
評価	平成29年度から保健事業利用助成事業のメニューに、運動習慣の獲得及び継続を支援し、健康の保持増進を図ることを目的に運動事業を追加している。 保健事業利用券申請者に対する運動事業の利用者の割合は、微増の傾向					
今後の方向性	被保険者の健康の保持増進を図るため、事業を継続実施していく。					

重点分野2 身体活動・運動

事業名	20 健康遊具の利用促進	所管課	公園緑地課			
内容	市内の公園にある健康遊具の位置について、市民へ周知を図る。					
期待する効果	健康遊具の位置に対する市民の認知度を高めることで、運動習慣の定着や運動しやすい環境づくりへの寄与を図る。					
関係課 関係機関 (民間企業含む)	健康増進課	ライフステージ	乳幼児期・ 学童期・ 思春期	青壮年期	高齢期	
				○	○	
実績値 及び 次年度指標	項目	目標増減	R5実績	R6実績	R7実績	R8指標
	① ホームページによる周知	—	—	—		
	②					
	③					
評価	現状は、健康遊具の位置について、市民に周知できていない状況であり、健康遊具の利用促進ができていない。					
今後の方向性	ホームページに健康遊具に関するページを設置する。					

事業名	21 「新体力テスト」の実施	所管課	指導課			
内容	文部科学省が平成11年度から導入した体力・運動能力を測定する調査で、国民の体力現状を把握し、体育・スポーツ指導の基礎資料とすることを目的としている。市立小中学校児童生徒一人ひとりが自身の体力・運動能力を知り、生活習慣の改善や体力向上を促すためのもので、筋力、俊敏性、瞬発力、持久力、柔軟性などの能力を測定する。					
期待する効果	児童生徒の体力向上					
関係課 関係機関 (民間企業含む)	千葉県小中学校体育連盟柏支部	ライフステージ	乳幼児期・ 学童期・ 思春期	青壮年期	高齢期	
			○			
実績値 及び 次年度指標	項目	目標増減	R5実績	R6実績	R7実績	R8指標
	① 全国平均を上回る項目	↑	13.2%	27.0%		
	②					
	③					
評価	小中学校における体力の低下には一定の歯止めがかかったと考えられるものの、依然として低い状況で推移しているため、体力向上に向けた学校体育における具体的取り組みについて協議を重ねている。 引き続き、関係機関と、系統的で魅力ある体育授業のあり方について研究を行い、外部講師からの講義や先進的な取組について広く共有を図っていく。					
今後の方向性	・体育学習の充実「運動の楽しさを実感できる授業の展開」 児童生徒が「運動が楽しい」と実感し、運動することへの意欲化を図る体育授業を展開できるよう具体的な指導法や児童生徒が夢中になって取り組む活動例についての情報を周知する。					

重点分野2 身体活動・運動

事業名	22 「小学校体育授業サポート事業」	所管課	指導課			
内容	小学校10校・特別支援学級を中心とした体育の授業支援					
期待する効果	支援を必要とする児童の運動への意欲・技能の向上					
関係課 関係機関 (民間企業含む)	契約課により契約されたサポート事業担当業社（オーグスベストフィットネス）	ライフステージ	乳幼児期・ 学童期・ 思春期	青壮年期	高齢期	
			○			
実績値 及び 次年度指標	項目	目標増減	R 5実績	R 6実績	R 7実績	R 8指標
	① 年間210時間の授業支援・実施校の満足度	—	—	—		
	②					
	③					
評価	全ての児童生徒が運動に触れる体育の授業において、児童生徒が「楽しい」と感じる授業を展開することが必要となる。 また、体育学習以外の運動機会を意図的に創出し、運動習慣を身に着けさせていく。					
今後の方向性	・日常的な運動習慣の形成「体育学習以外の運動機会の創出」 休み時間等に体育的行事と連携した運動イベント等への取組を提供し、放課後等に自主的に身体を動かす遊びに取り組むような内発的動機づけを目指す。					

事業名	23 「運動部活動指導者派遣事業」	所管課	指導課			
内容	中学校運動部活動・専門的な指導ができる運動部活動指導者の派遣					
期待する効果	運動部活動に加入している生徒の意欲・技能の向上					
関係課 関係機関 (民間企業含む)	千葉県小中学校体育連盟柏支部	ライフステージ	乳幼児期・ 学童期・ 思春期	青壮年期	高齢期	
			○			
実績値 及び 次年度指標	項目	目標増減	R 5実績	R 6実績	R 7実績	R 8指標
	① 中学校運動部活動指導者派遣数	↓	各校 1~7 計81人	各校 1~7 計76人		
	②					
	③					
評価	学校からの要望を基に専門の指導者を各学校に毎年派遣している。これにより、部活動に加入している生徒が専門的な指導を受け、意欲や技能の向上が期待されている。実際に、専門的な指導は一定の成果をもたらしている。					
今後の方向性	・専門家や関係団体の研究担当等と連携した体力向上につながる取組の検討 専門的見地からの助言に基づいた児童生徒体力の現状の分析・考察・取組を検討する。					

重点分野2 身体活動・運動

事業名	24 学校体育施設の開放事業	所管課	スポーツ課				
内容	地域のスポーツ団体の活動を推進するため、学校教育に支障のない範囲で小学校、中学校、高等学校の運動場、体育館等を登録団体に無料で開放。対象は柏市内の市立学校。						
期待する効果	運動場所の提供及び柏市内のスポーツ実施率の増加						
関係課 関係機関 (民間企業含む)	柏市内の市立学校	ライフステージ	乳幼児期・ 学童期・ 思春期	青壮年期	高齢期		
			○	○	○		
実績値 及び 次年度指標	項目	目標増減	R5実績	R6実績	R7実績	R8指標	
	① 学校開放利用団体数	↑	411	448	471		
	②						
	③						
評価	学校開放利用団体数は年々増えている。しかし、学校施設の目的外利用との棲み分け、運営に関する学校への負担などが課題となっている。						
今後の方向性	利用団体の固定化により、新規団体の参入が困難になっている学校が増加している。また、市外在住の利用者が増えている現状があり、今後運用の見直しが必要である。						

事業名	25 【再掲】健康遊具の利用促進	所管課	公園緑地課				
内容	市内の公園にある健康遊具の位置について、市民へ周知を図る。						
期待する効果	健康遊具の位置に対する市民の認知度を高めることで、運動習慣の定着や運動しやすい環境づくりへの寄与を図る。						
関係課 関係機関 (民間企業含む)	健康増進課	ライフステージ	乳幼児期・ 学童期・ 思春期	青壮年期	高齢期		
				○	○		
実績値 及び 次年度指標	項目	目標増減	R5実績	R6実績	R7実績	R8指標	
	① ホームページによる周知	—	—	—			
	②						
	③						
評価	現状は、健康遊具の位置について、市民に周知できていない状況であり、健康遊具の利用促進ができていない。						
今後の方向性	ホームページに健康遊具に関するページを設置する。						

重点分野2 身体活動・運動

事業名	26 シェアサイクル事業	所管課	交通政策課			
内容	まちなかの複数のサイクルステーションに配置された自転車を、ステーション間でいつでも相互利用できる有料サービス「シェアサイクル」について、R7年2月5日より運用開始。					
期待する効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常利用からレジャーまで、地域住民・従業者・来訪者の移動利便性向上 ・ 自家用車からの利用転換が図られ、交通渋滞や環境負荷の低減にも貢献 					
関係課 関係機関 (民間企業含む)	OpenStreet(株), (株)モビリティプラットフォーム	ライフステージ	乳幼児期・ 学童期・ 思春期	青壮年期	高齢期	
			○	○	○	
実績値 及び 次年度指標	項目	目標増減	R5実績	R6実績	R7実績	R8指標
	① 市内のステーション数		-	-	-	
	②					
	③					
評価	<p>R7年2月5日の事業開始時は、柏駅・南柏駅・新柏駅・高柳駅の周辺を拠点に58箇所（公有地：54箇所、民地：3箇所）であったが、エリアを柏の葉キャンパス駅、豊四季駅周辺にも拡充し、R7.11月末時点で95箇所となった。</p> <p>また、利用者も、サービス開始時は1,000人/月に満たなかったが、R7.10月末時点では2,500人/月まで増えている。</p>					
今後の方向性	他の地域へサイクルステーションを拡大し、市民・来訪者の更なる移動利便性の向上に向け、関係者との協議・調整を進めていく。					

重点分野3 睡眠・休養・こころの健康

事業名	27	フレイル予防事業（こころの健康）	所管課	地域包括支援課			
内容	フレイル予防を目的として運動や趣味の活動などを行う団体活動に対し、健康アプリでのポイントを付与するもの。（令和6年度より開始）						
期待する効果	健康アプリでのポイント付与により、主に高齢期の社会参加を促進し、フレイルを予防する。						
関係課 関係機関 (民間企業含む)	各市民活動団体，地域包括支援センター，社会福祉協議会等		ライフステージ	乳幼児期・ 学童期・ 思春期	青壮年期	高齢期	
実績値 及び 次年度指標	項目		目標増減	R5実績	R6実績	R7実績	R8指標
	①	健康アプリインストール者数	↑		—		
	②	健康アプリでのフレイル予防活動ポイント付与回数	↑		—		
	③	フレイル予防活動登録団体数	↑		—		
評価	令和7年度より健康アプリの配信を開始。令和6年度は健康アプリの構築を行い、令和7年度は旧制度のフレイル予防ポイント制度からの移行を促進することができた。						
今後の方向性	ポイント付与により、新規の活動への参加や活動継続の後押しとなるよう、健康アプリについて周知を強化し、インストール者数を増加させるとともに、活用促進を図っていく。						

事業名	28	健康づくり普及啓発事業（こころの健康）	所管課	健康増進課			
内容	イベント，健康教育の中でメンタルヘルスに関する啓発を実施。「メンタルヘルスに関するリーフレット」等を配付，出前講座の実施。テーマだけでなく，生活習慣病予防を含めた幅広い内容で実施。						
期待する効果	メンタルヘルスに関する知識の普及						
関係課 関係機関 (民間企業含む)	柏市民健康づくり推進員連絡協議会，沼南支所，図書館		ライフステージ	乳幼児期・ 学童期・ 思春期	青壮年期	高齢期	
実績値 及び 次年度指標	項目		目標増減	R5実績	R6実績	R7実績	R8指標
	①	啓発実施者数（休養・こころの健康）	↑	192人	169人		
	②						
	③						
評価	図書館や沼南支所ロビーでの展示による啓発，商業施設，市実施のイベント内でのポスター掲示やリーフレット等の配布による啓発活動等，さまざまな場面を捉え啓発を実施。また依頼の健康教育・出張出前講座では，対面研修を実施し，より直接的な啓発教育の実施することができている。						
今後の方向性	幅広い層への発信型の健康普及啓発と関心の高い層への直接的な啓発教育を組み合わせるとともに，1項目だけでなく，複数項目を関連付けた生活習慣病予防としての健康教育の展開など，効果的かつ効率的な健康づくり普及啓発を行う						

重点分野3 睡眠・休養・こころの健康

事業名	29 こころの健康に関する普及啓発	所管課	保健予防課				
内容	一般市民を対象とし、精神疾患等の正しい知識の啓発をおこなうために、講演会や講義を行う。						
期待する効果	より多くの市民が、こころの健康や精神疾患に関する理解を深め、正しい知識を学ぶことができる。						
関係課 関係機関 (民間企業含む)	柏市精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築 推進事業受託事業所	ライフステージ	乳幼児期・ 学童期・ 思春期	青壮年期	高齢期		
			思春期	○	○		
実績値 及び 次年度指標	項目	目標増減	R5実績	R6実績	R7実績	R8指標	
	① こころの健康出前講座・市民講座参加者数	↑	169人	242人			
	②						
	③						
評価	各講座の参加者数は増加傾向にあり、こころの健康に関する市民の意識の高さが伺える。R6年度より、民生委員児童委員協議会へ講座の周知を行い、より多くの市民へ啓発がおこなえるよう働きかけをおこない参加者数の増加につながった。						
今後の方向性	引き続き、市民への普及啓発に取り組む。また、精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業として、民間事業所と協働した普及啓発を行っていく。						

事業名	30 老人福祉センターの管理運営	所管課	高齢者支援課				
内容	高齢者がお互いの親睦を図り、各種の相談や教養の向上、レクリエーション、介護予防に役立つ講座などを実施し、高齢者の健康で豊かな生活を支援します。						
期待する効果	利用しやすい環境づくりを行い、高齢者の健康増進を図る						
関係課 関係機関 (民間企業含む)	柏市社会福祉協議会	ライフステージ	乳幼児期・ 学童期・ 思春期	青壮年期	高齢期		
					○		
実績値 及び 次年度指標	項目	目標増減	R5実績	R6実績	R7実績	R8指標	
	① 新規利用登録者数	↑	-	219			
	②						
	③						
評価	時間の経過とともに新型コロナウイルス感染症に対する予防策が改善してきたことや不安が薄れてきたことなども影響し、高齢者が外に出る気持ちは一層高まっている。感染対策を行い、コロナ前のイベントを含めて安定的に事業や講座を実施し、また、講座の新規参加者に個別に声掛けするなどの地道な活動を継続することで新規利用者の増加に結び付けた。						
今後の方向性	今後も感染対策を施すことはもちろん、安定的、かつ魅力のある事業や講座を展開することで新規利用者の獲得を図っていく。						

重点分野3 睡眠・休養・こころの健康

事業名	31	こころの健康相談	所管課	保健予防課				
内容	精神科医や職員によるこころの健康に関する相談							
期待する効果	精神的な不調等を抱えた本人や家族等に対する相談を行い、精神疾患等の早期発見や必要な支援につなげることができる。関係機関と連携した支援をおこなうことができる。							
関係課 関係機関 (民間企業含む)	精神科医療機関		ライフステージ	乳幼児期・ 学童期・ 思春期	青壮年期	高齢期		
				思春期	○	○		
実績値 及び 次年度指標	項目		目標増減	R5実績	R6実績	R7実績	R8指標	
	①	精神科医による相談件数	↓	70件	66件			
	②	職員による相談（面談，訪問，電話）	↓	9,459件	8,966件			
	③							
評価	精神保健に関する課題は、複雑多様化しており、対応に困難を抱えている事例も多くあり、関係機関との緊密な連携を行っている。							
今後の方向性	複雑多様化する相談者のニーズに対応できるよう、引き続き関係機関と緊密に連携を図り対応していく。							

事業名	32	ブックスタート事業	所管課	子育て支援課				
内容	1歳6か月児健康診査を受診する親子に対し、市民ボランティアが読み聞かせを行いながら絵本を手渡す事業							
期待する効果	<ul style="list-style-type: none"> ・読み聞かせボランティアによる絵本を通じた言葉かけやふれあいにより、親子の心安らぐ時間をつくるとともに、子どもの豊かな心と親子の愛着形成を育む。 ・地域社会における子育て支援活動を推進するとともに、読み聞かせボランティアの地域活動における交流の機会を創出する。 							
関係課 関係機関 (民間企業含む)	図書館，母子保健課 柏市ふれあいブックスタートの会		ライフステージ	乳幼児期・ 学童期・ 思春期	青壮年期	高齢期		
				○	○	○		
実績値 及び 次年度指標	項目		目標増減	R5実績	R6実績	R7実績	R8指標	
	①	ボランティア参加者数	—	210	210			
	②							
	③							
評価	ブックスタート事業の理解を深めるため、ボランティア全体研修会を開催した。コロナ禍での読み聞かせ休止期間の影響で、現在においても読み聞かせボランティアの不足が課題となっている。読み聞かせボランティアによる読み聞かせが開催できない日においては、配付式での実施も行いながら事業の運営を行った。							
今後の方向性	引き続き、コロナ禍で退会・休会により減少したボランティアの募集や研修等を行いながら、安定的に事業継続していく方法を検討する。							

重点分野3 睡眠・休養・こころの健康

事業名	33 地域子育て支援拠点事業	所管課	子育て支援課・保育運営課			
内容	乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助を行う事業（児童福祉法第6条の3第6項に規定される事業）					
期待する効果	子育て中の親子の孤立や子育てに対する不安の減少。					
関係課 関係機関 (民間企業含む)		ライフステージ	乳幼児期・ 学童期・ 思春期	青壮年期	高齢期	
			○			
実績値 及び 次年度指標	項目	目標増減	R5実績	R6実績	R7実績	R8指標
	① 【子育て支援課】 地域子育て支援拠点事業 延利用者数	↑	128,765	147,858		
	② 【保育運営課】 地域子育て支援拠点事業 延利用者数	↑	888	1860	8月現在 917	
	③					
評価	<p>【子育て支援課】 人口増が見込まれる北部に「はぐはぐひろば柏たなか」をR6.2月に開設。ニーズに合致したことから、令和6年度は大幅利用者増。乳幼児親子の交流の場として機能した。</p> <p>【保育運営課】 令和6年度より、リピートの利用者が多く、親同士のコミュニティーの場となってきている。 令和7年度より、予約制を廃止し、自由来館制としたことで、利用者数はさらに増加傾向にある。</p>					
今後の方向性	<p>【子育て支援課】 引き続き、乳幼児親子が利用しやすい場となるよう環境を整えるとともに、事業の充実を図る。</p> <p>【保育運営課】 今後も利用者数を増やしていけるようにする。また、気軽に相談できる雰囲気づくり及び親同士でも悩みを打ち明けられるような関係づくりを目指す。</p>					

事業名	34 妊娠届出受理と母子健康手帳交付事業（睡眠・休養・こころ）	所管課	母子保健課			
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠届出受理時、専門職が面談をして、こころの健康チェックを実施。気分の落ち込みや不安の有無を確認し、早期に支援を開始する。 ・妊娠届出受理の面談時に飲酒状況を確認。飲酒による健康リスクの啓発を行い、必要に応じ支援に繋いでいる。 					
期待する効果	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠や出産への不安が高い方やうつ病の疑いのある方に対し、早期発見・早期支援ができる。 ・妊娠期から飲酒による健康リスクの啓発を行い、早期支援ができる。 					
関係課 関係機関 (民間企業含む)	庁内関係各課 産科医療機関等	ライフステージ	乳幼児期・ 学童期・ 思春期	青壮年期	高齢期	
			○	○		
実績値 及び 次年度指標	項目	目標増減	R5実績	R6実績	R7実績	R8指標
	① 母子健康手帳交付状況	減	2864人	2823人	2901人 (見込み)	2900人
	② 母子健康手帳交付時の専門職の面談率	横ばい	100%	100%	100% (見込み)	100%
	③ 妊娠届出時の妊婦の飲酒率	増	0.30%	0.40%	0.4% (見込み)	0.00%
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠届出受理時に専門職（保健師、助産師等）による全数面接を実施。書面上では把握出来ない気分の落ち込みや不安の有無等を面談にて確認。要支援家庭を早期に把握し、必要な支援に繋げた。 ・妊婦等包括相談支援を含めた妊婦のための支援給付金と連携し、切れ目のない支援体制の強化に取り組んだ。 ・産科医療機関や精神科医療機関と連携を図り、メンタルヘルスの問題を抱える妊産婦の支援を強化した。 <p>妊娠届出時点での飲酒状況を確認し、飲酒による妊婦および胎児への健康リスクをリーフレット等を活用し、説明と啓発を実施。</p>					
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・市内4か所の妊娠子育て相談窓口（TeToTe、柏市役所、ウェルネス柏、沼南支所）にて、専門職（保健師、助産師等）による全数面接の継続。 ・周産期におけるメンタルヘルスに関して、関係機関との連携を強化。 ・市内4か所の妊娠子育て相談窓口による、専門職による全数面接にて、飲酒による健康リスクの啓発を継続。 					

重点分野3 睡眠・休養・こころの健康

事業名	35 乳児家庭全戸訪問事業	所管課	母子保健課			
内容	乳児の全家庭を保健師等が訪問することで、子育て世帯の孤立化を防ぎ、乳児の健全な育成環境を確保する。産後うつ早期発見スクリーニング指標や、赤ちゃんへの気持ち質問票のチェックリストを用い、育児ストレスが高いと思われる方へ訪問等の継続支援を実施。					
期待する効果	高い育児ストレスや気持ちの落ち込み等、育児をする上で困難がある方を、早期の支援につなぐことができる。					
関係課 関係機関 (民間企業含む)	庁内関係各課 産科医療機関等	ライフステージ	乳幼児期・ 学童期・ 思春期	青壮年期	高齢期	
			○	○		
実績値 及び 次年度指標	項目	目標増減	R5実績	R6実績	R7実績	R8指標
	① 乳児家庭全戸訪問事業実施者数	減	3,019人	2,973人	2,928人 (見込)	2,900人 (見込)
	② 乳児家庭全戸訪問事業面談率	増	97.5%	99.0%	99% (見込)	99% (見込)
	③					
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・保健師、助産師による新生児訪問は、子育て世帯の孤立化を防ぎ、育児ストレスが高い方への支援として、早期発見、早期支援につなげることができている。 ・令和7年度より、母子健康手帳別冊から出生連絡票ハガキを無くし、QRコードの電子申請に一本化された。 ・当市では転出入が多く、転入後の母子の早期支援にもつながっている。 					
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・乳児家庭全戸訪問事業を通じて、育児上の困難がある方をすみやかに支援につなげることができるよう、母子相談担当や産後ケア事業担当と情報共有を行い、連携を強化する。 					

事業名	36 1歳6か月児健康診査・3歳児健康診査（睡眠・休養・こころ）	所管課	母子保健課			
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・身体計測、歯科診察・歯科相談、育児相談、栄養相談、小児科診察、発達相談等を通して児の心身ともに健康な成長と保護者の育児を支援する。 					
期待する効果	<ul style="list-style-type: none"> ・児の心身の異常の早期発見、早期支援 ・保護者の育児負担、育児不安への支援による虐待予防 					
関係課 関係機関 (民間企業含む)	柏市医師会、柏歯科医師会、こども発達センター	ライフステージ	乳幼児期・ 学童期・ 思春期	青壮年期	高齢期	
			○			
実績値 及び 次年度指標	項目	目標増減	R5実績	R6実績	R7実績	R8指標
	① 1歳6か月児健康診査受診率	減	97.60%	93.50%	98.2% (～9月)	
	② 3歳児健康診査受診率	減	95.30%	90.10%	96.6% (～9月)	
	③					
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・R5年度よりR6年度は両健診とも受診率は減少しているが、他機関や他市区町村で受診している児やR7年4月以降（年度を越えた受診期間内）に受診した児を含めると、受診率は横ばいとなっている。 ・育児相談にて保護者の育児負担感や不安がある場合には、話を傾聴し利用可能なサービスの紹介や地域担当保健師からの支援を提案している。また、不適切なかかわりが見られた際には対応を助言し、その後の実践状況や今後の対応を地域担当保健師とともに考えることを提案することで育てにくさ軽減や虐待予防に努めている。 ・健診にて要精密検査となった児で2か月後まで受診がない児に対して、電話連絡し受診勧奨を実施、発達に課題がある児に対しても丁寧に対応し、現在検査が難しい場合でも一度受診し、その後の方針を医師と相談することを勧めている。 					
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・受診率向上のための受診勧奨はがき送付の継続 ・育児相談の精度管理(虐待の早期発見のためのリスクアセスメント用紙の活用、報告フローにもとづいた緊急時の対応 等) 					

重点分野3 睡眠・休養・こころの健康

事業名	37 産後ケア事業	所管課	母子保健課				
内容	産後も安心して子育てができるよう、宿泊、訪問または、通所サービスを利用して、母親の心身のケアや育児サポート（育児相談、沐浴・授乳等の育児指導等）を行う						
期待する効果	<ul style="list-style-type: none"> 産後の母の心身の回復と、産後うつや育児ストレスの予防、軽減 専門職による育児指導等による育児手技の獲得 育児を担う母を含めた家族の負担軽減 						
関係課 関係機関 (民間企業含む)	産科医療機関等	ライフステージ	乳幼児期・ 学童期・ 思春期	青壮年期	高齢期		
			○	○			
実績値 及び 次年度指標	項目	目標増減	R5実績	R6実績	R7実績	R8指標	
	① 産後ケア事業申請数	増	248	326	498 (見込み)	747 (見込み)	
	②						
	③						
評価	<ul style="list-style-type: none"> 令和7年度より産後ケアの利用条件の緩和を行った結果、令和6年度の実績252件（対象母子の約1割）から、令和7年度は対象母子の約2割を想定している。 産後ケア契約施設拡充検討のため、施設見学と情報収集を実施した 申請者数が増加しているため、電子申請の導入による事務作業の効率化を図った EPDS高値・問10に加点、精神疾患の既往等の支援が必要な対象について、施設との情報共有を実施した 						
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 産後ケア申請者が全員利用できる体制を整える。 産後ケア契約施設の拡充 事務作業の効率化 						

事業名	38 生涯学習事業自主活動・地域活動支援講座	所管課	生涯学習課・中央公民館			
内容	誰もが健康でより充実した豊かな人生を送るため地域の方々と交流を深め、互いに学ぶことにより、良好な人間関係を築き社会的能力を高め、めまぐるしく移り変わる社会に順応できる能力を養う。					
期待する効果	社会活動に参加している人の増加					
関係課 関係機関 (民間企業含む)	なし	ライフステージ	乳幼児期・ 学童期・ 思春期	青壮年期	高齢期	
				○	○	
実績値 及び 次年度指標	項目	目標増減	R5実績	R6実績	R7実績	R8指標
	① 実施回数			27		
	② 参加者数			379		
	③					
評価	自主活動等を通して、地域の方々と交流を深め互いに学ぶことにより、めまぐるしく移り変わる社会に順応できる能力を養うことを目的として事業実施を展開した。次年度以降も、良好な人間関係を築き社会的能力を高めることができるよう、講座の充実を図る。					
今後の方向性	引き続き、社会活動に参加を促す講座を組み立て進めていく。					

重点分野3 睡眠・休養・こころの健康

事業名	39 不登校児童生徒の支援事業	所管課	児童生徒課			
内容	市内の小中学校で、何らかの要因による不登校状態の児童生徒を対象に行う支援事業。本人の自立を促すとともに、学びの保障と居場所づくりを目指し、学習支援や訪問活動等を行っている。					
期待する効果	<ul style="list-style-type: none"> ・不登校児童生徒の学習保障。 ・家庭と学校以外の居場所の確保。 					
関係課 関係機関 (民間企業含む)	-	ライフステージ	乳幼児期・ 学童期・ 思春期	青壮年期	高齢期	
			○			
実績値 及び 次年度指標	項目	目標増減	R5実績	R6実績	R7実績	R8指標
	① 教育支援センター利用者	↓	177人	175人		
	② 教育相談件数（電話）	↓	3,628件	3,046件		
	③ 教育相談件数（来室・訪問等）	↑	1,529件	1,533件		
	④ 教育相談件数（家庭訪問）	↓	877件	850件		
評価	<p>市内小中学生の不登校数は、ここ数年増加の一途である。</p> <p>市内に5カ所ある教育支援センターは、不登校児童生徒にとって学習をしたり友達とかかわったりすることで、安心して過ごすことができる居場所としての機能を果たしている。また、家庭訪問事業は、引きこもりがちな児童生徒や保護者にとって、相談をしたり関わったりできる貴重な機会となっている。</p> <p>今後も周知を図り、関係機関とまだつながりを持たずにいる児童生徒や保護者とかかわっていき、社会的な自立を目指すための支援を行っていく。</p>					
今後の方向性	教育相談機能・学習支援など、より効果的な場所となるような運営に努める。また、SSWやSCとの連携を密にし、誰一人取り残さない支援を継続していく。					

事業名	40 自殺予防の大切さの啓発と周知	所管課	福祉政策課			
内容	自殺は誰にでも起こり得る危機であることへの理解を深め、自身や身近な人の心の不調に気づく役割等について関心が深まるよう啓発する。					
期待する効果	自殺者数の減少					
関係課 関係機関 (民間企業含む)	なし	ライフステージ	乳幼児期・ 学童期・ 思春期	青壮年期	高齢期	
			○	○	○	
実績値 及び 次年度指標	項目	目標増減	R5実績	R6実績	R7実績	R8指標
	① ゲートキーパー養成研修等の参加者数	↑	224	-	-	300
	②					
	③					
評価	<p>広く市民を対象に、悩んでいる方に気づき、声を掛け、話を聞いて必要な支援につなげることのできるゲートキーパーを養成する研修を行う。</p>					
今後の方向性	誰かに援助を求めることが適切であるという理解の促進や、自殺に対する誤った認識及び偏見を払拭し、自分の周りにもいるかもしれない自殺を考えている人の存在に気づくことが大切であるため、より一層の普及啓発を実施する。					

重点分野4 飲酒・喫煙

事業名	41	健康づくり普及啓発事業（飲酒）	所管課	健康増進課				
内容	イベント、健康教育の中で適正飲酒に関する啓発を実施。「飲酒」に関するリーフレット」等を配付、出前講座の実施。テーマだけでなく、生活習慣病予防を含めた幅広い内容で実施。							
期待する効果	アルコールの健康影響や適正飲酒量についての理解が深まり、「正しい情報を知る」ことができる。「飲酒は高血圧・糖尿病・脂質異常症などの生活習慣病に関係する」と、飲酒問題が単独ではなく生活習慣全体の課題として認識され、「食事・運動・飲酒・喫煙」などをまとめて考えるきっかけになり、健康づくりを総合的に捉えて取り組み人が増える。							
関係課 関係機関 (民間企業含む)	柏市民健康づくり推進員連絡協議会、沼南支所、図書館		ライフステージ	乳幼児期・ 学童期・ 思春期	青壮年期	高齢期		
				○	○	○		
実績値 及び 次年度指標	項目		目標増減	R5実績	R6実績	R7実績	R8指標	
	①	啓発実施者数（喫煙）	↑	2,102人	1,189人			
	②							
	③							
評価	図書館や沼南支所ロビーでの展示による啓発、商業施設、市実施のイベント内でのポスター掲示やリーフレット等の配布による啓発活動等、さまざまな場面を捉え啓発を実施。また依頼の健康教育・出張出前講座では、対面研修を実施し、より直接的な啓発教育の実施することができている。							
今後の方向性	幅広い層への発信型の健康普及啓発と関心の高い層への直接的な啓発教育を組み合わせるとともに、1項目だけでなく、複数項目を関連付けた生活習慣病予防としての健康教育の展開など、効果的かつ効率的な健康づくり普及啓発を行う							

事業名	42	アルコール健康障害対策事業	所管課	保健予防課				
内容	精神科医師や職員によるアルコール等に関する相談。アルコール依存症者等を対象にしたミーティング、減酒のためのプログラム、普及啓発を実施。							
期待する効果	アルコール関連問題について、早期に相談に応じることができる。市民がアルコール依存症や関連問題について理解を深めることができる。							
関係課 関係機関 (民間企業含む)	精神科医療機関、柏断酒新生会		ライフステージ	乳幼児期・ 学童期・ 思春期	青壮年期	高齢期		
				思春期	○	○		
実績値 及び 次年度指標	項目		目標増減	R5実績	R6実績	R7実績	R8指標	
	①	アルコール等悩みごと相談	↑	11件	19件			
	②	アルコール関連事業（アルコールリカバリーミーティング、減酒プログラム等）	↑	158人	193人			
	③							
評価	相談や各事業への利用ニーズは一定程度あるが、対象者は限定的であった。今後は、市民がより相談しやすい体制を整えるための工夫やアルコール関連問題に対応する支援者や理解者を増やしていくための働きかけを行っていく必要がある。							
今後の方向性	引き続き、市民への普及啓発に取り組む。支援者に向けた啓発等をおこなっていく。							

重点分野4 飲酒・喫煙

事業名	43 妊娠届出受理と母子健康手帳交付事業（飲酒）	所管課	母子保健課			
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠届出受理時，専門職が面談をして，こころの健康チェックを実施。気分の落ち込みや不安の有無を確認し，早期に支援を開始する。 ・妊娠届出受理の面談時に飲酒状況を確認。飲酒による健康リスクの啓発を行い，必要に応じ支援に繋いでいる。 					
期待する効果	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠や出産への不安が高い方やうつ病の疑いのある方に対し，早期発見・早期支援ができる。 ・妊娠期から飲酒による健康リスクの啓発を行い，早期支援ができる。 					
関係課 関係機関 (民間企業含む)	庁内関係各課 産科医療機関等	ライフステージ	乳幼児期・ 学童期・ 思春期	青壮年期	高齢期	
			○	○		
実績値 及び 次年度指標	項目	目標増減	R5実績	R6実績	R7実績	R8指標
	① 母子健康手帳交付状況	減	2864人	2823人	2901人 (見込み)	2900人
	② 母子健康手帳交付時の専門職の面談率	横ばい	100%	100%	100% (見込み)	100%
	③ 妊娠届出時の妊婦の飲酒率	増	0.30%	0.40%	0.4% (見込み)	0.00%
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠届出受理時に専門職（保健師，助産師等）による全数面接を実施。書面上では把握出来ない気分の落ち込みや不安の有無等を面談にて確認。要支援家庭を早期に把握し，必要な支援に繋がった。 ・妊婦等包括相談支援を含めた妊婦のための支援給付金と連携し，切れ目のない支援体制の強化に取り組んだ。 ・産科医療機関や精神科医療機関と連携を図り，メンタルヘルスの問題を抱える妊産婦の支援を強化した。 <p>妊娠届出時点での飲酒状況を確認し，飲酒による妊婦および胎児への健康リスクをリーフレット等を活用し，説明と啓発を実施。</p>					
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・市内4か所の妊娠子育て相談窓口（TeToTe，柏市役所，ウェルネス柏，沼南支所）にて，専門職（保健師，助産師等）による全数面接の継続。 ・周産期におけるメンタルヘルスに関して，関係機関との連携を強化。 ・市内4か所の妊娠子育て相談窓口による，専門職による全数面接にて，飲酒による健康リスクの啓発を継続。 					

事業名	44 たばこ対策推進事業	所管課	健康増進課			
内容	<p>喫煙による健康被害の軽減を目的に啓発等を行う。具体的には未成年者の喫煙を抑止を目的としたノースモッ子新聞の作成，配付，禁煙を希望する人への情報提供ツールとして，禁煙外来および禁煙支援薬局マップの作成および配付</p>					
期待する効果	未成年者への喫煙に関する正しい知識の普及啓発，成人の喫煙率の低下					
関係課 関係機関 (民間企業含む)	柏市医師会，柏歯科医師会，柏市薬剤師会 柏市小中学校，環境サービス課，学校保健課 少年補導センター，千葉県 等	ライフステージ	乳幼児期・ 学童期・ 思春期	青壮年期	高齢期	
			○	○	○	
実績値 及び 次年度指標	項目	目標増減	R5実績	R6実績	R7実績	R8指標
	① 小中学校等での出張講座（ノースモッ子作戦）	↑	18校	22校		
	②					
	③					
評価	薬剤師等が対面での講義を実施し，より直接的な啓発教育の実施することができている。					
今後の方向性	学校と連携し，未成年者の喫煙抑止，たばこの正しい知識の普及啓発を目的に出張講座を継続する。					

重点分野4 飲酒・喫煙

事業名	45 健康づくり普及啓発事業（喫煙）	所管課	健康増進課			
内容	イベント、健康教育の中でたばこの害・受動喫煙に関する啓発を実施。「たばこの害・受動喫煙」に関するリーフレット」等を配付，出前講座の実施。テーマだけでなく，生活習慣病予防を含めた幅広い内容で実施。					
期待する効果	「喫煙はがんだけでなく心筋梗塞・脳卒中・糖尿病など生活習慣病にも関係する」と、喫煙問題が生活習慣全体の課題として認識され，「禁煙＋運動＋食生活改善＋適正飲酒」といった総合的な健康行動を考えるきっかけになる。					
関係課 関係機関 (民間企業含む)	薬剤師会，柏市民健康づくり推進員連絡協議会，沼南支所，図書館	ライフステージ	乳幼児期・ 学童期・ 思春期	青壮年期	高齢期	
			○	○	○	
実績値 及び 次年度指標	項目	目標増減	R5実績	R6実績	R7実績	R8指標
	① 啓発実施者数（喫煙）	↑	2,102人	1,189人		
	②					
	③					
評価	図書館や沼南支所ロビーでの展示による啓発，商業施設，市実施のイベント内でのポスター掲示やリーフレット等の配布による啓発活動等，さまざまな場面を捉え啓発を実施。また依頼の健康教育・出張出前講座では，対面研修を実施し，より直接的な啓発教育の実施することができている。					
今後の方向性	幅広い層への発信型の健康普及啓発と関心の高い層への直接的な啓発教育を組み合わせるとともに，1項目だけでなく，複数項目を関連付けた生活習慣病予防としての健康教育の展開など，効果的かつ効率的な健康づくり普及啓発を行う					

事業名	46 受動喫煙対策推進事業	所管課	健康増進課			
内容	改正健康増進法に基づき，受動喫煙の実態と健康影響を市民に正しく伝え、家庭・職場・公共空間における受動喫煙の機会を減少させることを目的とし，禁煙に積極的に取り組むお店を認証する「おいでよ！カシワニ禁煙ステッカー等配付事業」や「世界禁煙デー」「受動喫煙防止キャンペーン」に合わせた普及啓発を実施する。					
期待する効果	望まない受動喫煙の減少					
関係課 関係機関 (民間企業含む)	柏市医師会，柏歯科医師会，柏市薬剤師会 柏市小中学校，環境サービス課，母子保健課，千葉県 等	ライフステージ	乳幼児期・ 学童期・ 思春期	青壮年期	高齢期	
			○	○	○	
実績値 及び 次年度指標	項目	目標増減	R5実績	R6実績	R7実績	R8指標
	① おいでよ！カシワニ禁煙ステッカー登録店（累計）	↑	107店	109店		
	②					
	③					
評価	飲食店経営者から問い合わせの多い「喫煙室の設置について」新たにチラシを作成，配付をしたり，母子保健部門と連携し乳幼児の保護者向けにサードハンドスモークのチラシを配布するなど，正しい知識の普及啓発に努めた。					
今後の方向性	法改正の趣旨に基づき，適正な運用ができていない事業所への助言や指導を継続し，受動喫煙防止を推進していく。また，法に定められた配慮義務を周知していくことで，望まない受動喫煙を減少させていく。					

重点分野4 飲酒・喫煙

事業名	47 ぼい捨て等防止事業	所管課	環境サービス課			
内容	啓発看板・路面シール・横断幕の設置等の啓発を行い，ぼい捨て及び路上等喫煙の防止を図る。					
期待する効果	ぼい捨てごみ及び路上等喫煙の減少					
関係課 関係機関 (民間企業含む)	防災安全課	ライフステージ	乳幼児期・ 学童期・ 思春期	青壮年期	高齢期	
			△	○	△	
実績値 及び 次年度指標	項目	目標増減	R5実績	R6実績	R7実績	R8指標
	① 過料徴収件数	↓	439件	349件		
	②					
	③					
評価	<p>通常のパトロールに加え，市民からの苦情や情報提供に応じて，該当する箇所の巡回を実施し，違反者の注意・指導を行い，滞在時間や巡回コースの工夫を行った。</p> <p>また，啓発として，看板の設置，路面シールの設置を行うとともに，柏駅南口及び柏駅東口大型デジタルサイネージでの公共案内を継続し，効果的な啓発に取り組んでいる。</p> <p>さらに，6・9・12・3月に柏駅及び柏の葉キャンパス駅周辺における路上等喫煙及びぼい捨ての実態を把握するために散乱ごみ実態調査を行うとともに，ぼい捨て等防止を呼びかけながら柏市内の各駅前での巡回を行った。</p>					
今後の方向性	市民からの要望や現地の状況を踏まえながら，各駅周辺におけるパトロールの実施や，マナー意識向上のための啓発など，ぼい捨て及び路上等喫煙防止のための取組を実施していく。					

重点分野5 歯と口の健康

事業名	48 フレイル予防事業（歯と口の健康）	所管課	地域包括支援課			
内容	主に高齢者に対するフレイル（介護予防）事業のうち、口腔機能や嚥下をテーマとしたプログラムについて、歯科医師、歯科衛生士、言語聴覚士等が講座を行う。					
期待する効果	高齢期の必要に口腔機能に関する周知により、口腔機能低下を防ぎ、フレイルを予防する					
関係課 関係機関 (民間企業含む)	柏歯科医師会、柏歯科医師会附属歯科介護支援センター、地域包括支援センターなど	ライフステージ	乳幼児期・ 学童期・ 思春期	青壮年期	高齢期	
				△	○	
実績値 及び 次年度指標	項目	目標増減	R5実績	R6実績	R7実績	R8指標
	① フレイル予防・健康づくり出前講座参加者数	↑	131人	342人		
	② 地域包括支援センター主催の教室参加者数	↑	16人	77人		
	③ フレイルハイリスク者への個別支援件数	↑	6件	19件		
評価	令和6年度はサロンなどの活動が活発化したことから、フレイル予防出前講座や地域包括支援センター主催の教室開催や参加者数が増加した。フレイルチェック等からのハイリスク者個別支援数も増加し、自身の心身の衰えの気づきや予防行動につなげることができた。令和7年度も同様に、各地域でフレイルチェックや出前講座、地域包括支援センター主催事業を実施し、市民の意識・行動変容（口腔機能の改善）につなげるよう働きかけていく。					
今後の方向性	今後もフレイル予防の中での「口腔」をテーマとして講座を継続的に開催していく。ハイリスク者への集団支援（フレイルチェックや講座）、個別支援を継続する。					

事業名	49 訪問口腔衛生指導事業補助金	所管課	地域医療推進課			
内容	訪問調査並びに口腔ケアの指導や一般市民への啓発事業、多職種連携事業等への訪問口腔衛生指導事業に対する補助金の交付					
期待する効果	<ul style="list-style-type: none"> 在宅療養者が治療及び口腔ケアを受けることにより、口腔機能を維持し、生活の質の向上を図る。 市民が、在宅療養状態になっても、安心して歯科治療を受けることができる環境整備。 					
関係課 関係機関 (民間企業含む)	柏歯科医師会	ライフステージ	乳幼児期・ 学童期・ 思春期	青壮年期	高齢期	
					○	
実績値 及び 次年度指標	項目	目標増減	R5実績	R6実績	R7実績	R8指標
	① 訪問口腔衛生指導（訪問口腔ケア）を実施した方の口腔機能向上	↑	85%	98%		
	②					
	③					
評価	歯科衛生士の訪問調査（口腔診査）により、対象者の9割以上が治療につながった。また、口腔ケアや摂食嚥下リハビリ等の実施により、生活の質の向上につながった。施設や病院、事業所の職員への口腔ケアの講話ならびに老人会やサロンへ介護予防の講話については、職員側では知識や情報の共有を通じ利用者や患者への対応に変化がでている他、高齢者側では歯科へ関心向上、セルフケアの向上につながっている。また、多職種と連携し、介護予防に対する歯科の役割を啓発した。					
今後の方向性	令和7年度も、本補助事業を継続し、市民の口腔機能の維持向上、生活の質の向上につなげていくとともに、多職種連携の中で訪問口腔衛生指導事業の推進を図る。					

重点分野5 歯と口の健康

事業名	50 健康づくり普及啓発事業（歯と口の健康）	所管課	健康増進課			
内容	イベント、健康教育の中で口腔衛生に関する啓発を実施。 「口腔衛生に関するリーフレット」等を配付、出前講座の実施。					
期待する効果	市民の口腔ケア習慣や歯科受診率が改善し、むし歯や歯周病の早期発見につながるとともに、口腔衛生が生活習慣病予防に関係するという理解が広がることで、健康意識が高まる					
関係課 関係機関 (民間企業含む)	柏市民健康づくり推進員連絡協議会、沼南支所、図書館	ライフステージ	乳幼児期・ 学童期・ 思春期	青壮年期	高齢期	
			○	○	○	
実績値 及び 次年度指標	項目	目標増減	R5実績	R6実績	R7実績	R8指標
	① 啓発実施者数（歯・口腔の健康）	↑	804人	450人		
	② 依頼の健康教育参加者数（講師：歯科衛生士）	↑	18人	76人		
	③ 柏市民健康づくり推進員による各地域での開催	↑	—	—		
評価	図書館や沼南支所ロビーでの展示による啓発、商業施設、市実施のイベント内でのポスター掲示やリーフレット等の配布による啓発活動等、さまざまな場面を捉え啓発を実施。また依頼の健康教育・出張出前講座では、対面研修を実施し、より直接的な啓発教育の実施することができている。					
今後の方向性	幅広い層への発信型の健康普及啓発と関心の高い層への直接的な啓発教育を組み合わせるとともに、1項目だけでなく、複数項目を関連付けた生活習慣病予防としての健康教育の展開など、効果的かつ効率的な健康づくり普及啓発を行う					

事業名	51 歯周病検診事業	所管課	健康増進課			
内容	対象者（満20, 30, 40, 50, 60歳）に個人通知を行い、委託医療機関にて歯周ポケット測定等の歯周病検診を実施する。					
期待する効果	<ul style="list-style-type: none"> 歯周病は歯の喪失の主な原因であり、歯周病の発症予防・重症化予防ができる。 かかりつけ歯科医を持ち、定期受診につながる。 					
関係課 関係機関 (民間企業含む)	柏歯科医師会	ライフステージ	乳幼児期・ 学童期・ 思春期	青壮年期	高齢期	
				○	○	
実績値 及び 次年度指標	項目	目標増減	R5実績	R6実績	R7実績	R8指標
	① 歯周病検診受診率(40歳)	↑	7.3%	6.8%		
	② 進行した歯肉炎を有する者の割合（40歳）	↓	36.9%	47.0%		
	③ 未処置歯を有する者の割合（40歳）	↓	36.7%	38.6%		
	④ 喪失歯のない者の割合（40歳）	↑	92.9%	92.9%		
評価	ナッジ理論を活用した受診券デザインにするなど工夫を行い、やや減少傾向にはあるが受診率をキープすることができている。事業をきっかけに歯科医院に受診した市民についてはその歯科医院をかかりつけ歯科医とし、今後も定期的に受診するようその重要性について柏歯科医師会と連携を図りながら、周知啓発を実施していく。					
今後の方向性	むし歯や歯周病等により歯を失うことを予防し、健康寿命の延伸につなげるため、歯周病検診を継続する。					

重点分野5 歯と口の健康

事業名	52 特殊歯科診療事業支援事業	所管課	地域医療推進課			
内容	一般的な診療が難しい障害児・者、高齢者等に診療を行う特殊歯科診療所の運営に対し補助金を交付					
期待する効果	一般診療が難しい方本人及び家族の負担軽減と生活の質向上					
関係課 関係機関 (民間企業含む)	柏市医療公社, 柏歯科医師会	ライフステージ	乳幼児期・ 学童期・ 思春期	青壮年期	高齢期	
			○	○	○	
実績値 及び 次年度指標	項目	目標増減	R 5実績	R 6実績	R 7実績	R 8指標
	① 患者数	—	3,799人	3,276人		
	②					
	③					
評価	一般の歯科診療所では治療が困難な患者に対する歯科診療の運営および摂食嚥下指導実施の補助であることから、必要性の高い事業であるという認識のもと、引き続き本補助事業を継続し該当患者の生活の質向上に努めていく。					
今後の方向性	引き続き必要な方が適切な医療が受けられる体制を確保していく。					

事業名	53 母子歯科保健	所管課	母子保健課			
内容	乳幼児における歯や口の健康づくりに関する健診・相談・教育・啓発等及び環境整備					
期待する効果	<ul style="list-style-type: none"> 健康格差の縮小 持続的な健康づくりのための環境整備 					
関係課 関係機関 (民間企業含む)	柏歯科医師会, 柏市認定こども園協議会, 柏市私立認可保育園協議会, 柏市私立幼稚園協会, 教育委員会, 保育運営課, 子育て支援課	ライフステージ	乳幼児期・ 学童期・ 思春期	青壮年期	高齢期	
			○			
実績値 及び 次年度指標	項目	目標増減	R 5実績	R 6実績	R 7実績	R 8指標
	① 小学校1年生むし歯罹患率	↓	22.80%	19.60%		
	② 小・中学校のむし歯罹患率の差	↓	42.8ポイント	37.3ポイント		
	③ フッ化物洗口実施施設の増加	↑		5		
評価	エビデンスに基づいたむし歯予防対策として、フッ化物洗口事業を幼稚園・保育園・こども園で昨年度からモデル園で実施し、今年度実施園が増加している。また、小学校についてはモデル校2校で開始され、健康格差の縮小を目指した取り組みが展開できている。					
今後の方向性	健康格差の解消のため、これまでの「健診や健康教育」だけでなく、環境整備に資する施策を展開する。また、エビデンスに基づいた集団を対象としたむし歯予防の効果が期待できるフッ化物洗口を拡大していく。					

重点分野5 歯と口の健康

事業名	54 健康かむかむ補助金事業	所管課	健康増進課			
内容	柏歯科医師会が主催する地域歯科保健医療啓発の一環であり、各種コンクール実施、表彰、口腔がん検診、市民向け口腔啓発企画等へ補助を行う					
期待する効果	フェスタやスタンプラリーを通じて市民が楽しく口腔衛生を学び、口腔がん検診によって早期発見を促進する。また取り組みにより、受診率の向上と予防意識の定着を図り、地域全体の健康づくりに貢献することに期待している。					
関係課 関係機関 (民間企業含む)	柏歯科医師会, 教育委員会, 柏市民健康づくり推進員 連絡協議会	ライフステージ	乳幼児期・ 学童期・ 思春期	青壮年期	高齢期	
			○	○	○	
実績値 及び 次年度指標	項目	目標増減	R5実績	R6実績	R7実績	R8指標
	① 健康かむかむ運動参加者数	↑	1,177人	1,115人		
	② 口腔がん検診受診者数	↑	170人	154人		
	③					
評価	地域に出向き住民とふれあいながらの啓発を実施した。柏歯科医師会の公式YouTubeを配信し、歯や口の健康づくりを身近に感じられるような内容を作成した。					
今後の方向性	関係機関と連携を図りながら、各ライフステージにあった媒体を活用し、必要な情報提供・発信を実施していく。					

事業名	55 【再掲】母子歯科保健	所管課	母子保健課			
内容	乳幼児における歯や口の健康づくりに関する健診・相談・教育・啓発等及び環境整備					
期待する効果	<ul style="list-style-type: none"> 健康格差の縮小 持続的な健康づくりのための環境整備 					
関係課 関係機関 (民間企業含む)	柏歯科医師会, 柏市認定こども園協議会, 柏市私立認可 保育園協議会, 柏市私立幼稚園協会, 教育委員会, 保育運営課, 子育て支援課	ライフステージ	乳幼児期・ 学童期・ 思春期	青壮年期	高齢期	
			○			
実績値 及び 次年度指標	項目	目標増減	R5実績	R6実績	R7実績	R8指標
	① 小学校1年生むし歯罹患率	↓	22.80%	19.60%		
	② 小・中学校のむし歯罹患率の差	↓	42.8ポ イント	37.3ポ イント		
	③ フッ化物洗口実施施設の増加	↑		5		
評価	エビデンスに基づいたむし歯予防対策として、フッ化物洗口事業を幼稚園・保育園・こども園で昨年度からモデル園で実施し、今年度実施園が増加している。また、小学校についてはモデル校2校で開始され、健康格差の縮小を目指した取り組みが展開できている。					
今後の方向性	健康格差の解消のため、これまでの「健診や健康教育」だけでなく、環境整備に資する施策を展開する。また、エビデンスに基づいた集団を対象としたむし歯予防の効果が期待できるフッ化物洗口を拡大していく。					

重点分野6 発症予防・健診・重症化予防

事業名	56 予防接種事業（HPVワクチン、B型肝炎ワクチン）	所管課	健康増進課			
内容	小学6年生から高校1年生相当の女子に対し、HPVワクチン接種を実施。生後1歳未満の者にB型肝炎ワクチン接種を実施。					
期待する効果	HPVへの感染及び子宮頸がんの前がん病変を予防 B型肝炎ウイルスへの感染を予防					
関係課 関係機関 (民間企業含む)	柏市医師会、千葉県医師会など	ライフステージ	乳幼児期・ 学童期・ 思春期	青壮年期	高齢期	
実績値 及び 次年度指標	項目	目標増減	R5実績	R6実績	R7実績	R8指標
	① 高校1年生HPVワクチン累積初回接種率	↑	-	60.4%		
	② B型肝炎ワクチン接種率	↑	99.7%	97.2%		
	③					
評価	HPVワクチンは、中学1年生及び高校1年生に各個別通知するとともに、令和6年度は、HPVワクチンのキャッチアップ接種終了を控え、定期接種対象者への周知啓発も併せて強化し、接種率が大幅に増加した。B型肝炎ワクチンは出生時に予防接種ノート（予診票一式）を送付し、接種勧奨を継続。積極的な個別勧奨はなくとも接種実績は安定している。					
今後の方向性	令和7年度でHPVワクチンのキャッチアップ接種が終了するため、次年度以降は定期接種の接種率維持・向上が課題となる。勧奨対象を中学1年生から小学6年生に引き下げ、より早期の接種勧奨を図る。的確な情報提供と啓発も継続し、子宮頸がん予防の実現を目指す。B型肝炎ワクチンは引き続き出生時の予診票送付による勧奨を継続し、安定した接種実績を維持して感染予防に努める。					

事業名	57 特定保健指導	所管課	健康増進課			
内容	特定健康診査の結果よりメタボリックシンドロームのリスクのある対象者に、3ヶ月以上の生活習慣改善のための特定保健指導を実施。特定保健指導を受けやすい体制づくりや、実施率向上のため市民への啓発を実施している。					
期待する効果	生活習慣の見直し等により、生活習慣病の予防ができ、市民の健康の保持・増進・健康寿命の延伸を図る。					
関係課 関係機関 (民間企業含む)	民間委託業者、委託医療機関、JA千葉厚生連、ちば県民保健予防財団	ライフステージ	乳幼児期・ 学童期・ 思春期	青壮年期	高齢期	
実績値 及び 次年度指標	項目	目標増減	R5実績	R6実績	R7実績	R8指標
	① 特定保健指導実施率	↑	21.8%	20.3%		
	② 初回支援実施者数（民間委託業者、委託医療機関、JA千葉厚生連、ちば県民保健予防財団）	↑	21.7%	22.7%		
	③					
評価	令和6年度から、平日夜間、自宅・職場への訪問、ICTを活用した保健指導を行える環境整備を図り、更なる保健指導率の向上を目指すことを目的として、民間業者へ委託をした。今後の特定保健指導実施率の向上が課題であるため、今後の推移を評価していく。					
今後の方向性	「柏市国民健康保険3期保健事業実施計画（データヘルス計画）」および「柏市国民健康保険第4期特定健診等実施計画」に基づき、特定保健指導の実施率向上を目指していく。					

重点分野6 発症予防・健診・重症化予防

事業名	58 健康づくり普及啓発事業（重症化予防）	所管課	健康増進課			
内容	イベント、健康教育の中でがん等に関する啓発を実施。「がん啓発リーフレット」等を配付、出前講座の実施。テーマだけでなく、生活習慣病予防を含めた幅広い内容で実施。					
期待する効果	がんの原因、早期発見の重要性、検診受診の必要性などの理解が深まり検診受診行動へ移すことができる。また「がんは生活習慣病と共通のリスク要因（喫煙・飲酒・食生活・運動不足）と関係する」と伝えることで、がん予防を生活習慣全体の改善と結びつけて考え行動することができる。					
関係課 関係機関 (民間企業含む)	柏市民健康づくり推進員連絡協議会、沼南支所、図書館	ライフステージ	乳幼児期・ 学童期・ 思春期	青壮年期	高齢期	
			○	○	○	
実績値 及び 次年度指標	項目	目標増減	R5実績	R6実績	R7実績	R8指標
	① 啓発実施者数（がん）	↑	3,154人	1,532人		
	② 柏市民健康づくり推進員による各地域での開催	↑	—	—		
	③					
評価	図書館や沼南支所ロビーでの展示による啓発、商業施設、市実施のイベント内でのポスター掲示やリーフレット等の配布による啓発活動等、さまざまな場面を捉え啓発を実施。また依頼の健康教育・出張出前講座では、対面研修を実施し、より直接的な啓発教育の実施することができている。					
今後の方向性	幅広い層への発信型の健康普及啓発と関心の高い層への直接的な啓発教育を組み合わせるとともに、1項目だけでなく、複数項目を関連付けた生活習慣病予防としての健康教育の展開など、効果的かつ効率的な健康づくり普及啓発を行う					

事業名	59 がん検診事業（発症予防・健診・重症化予防）	所管課	健康増進課			
内容	「がん検診重点健康教育及びがん検診の実施のための指針」（厚生労働省）に基づき、胃、大腸、結核・肺、乳、子宮の各がん検診の実施。					
期待する効果	各がんの早期発見、早期治療、がん死亡率の減少					
関係課 関係機関 (民間企業含む)	柏市医師会 ちば県民保健予防財団 医療センター	ライフステージ	乳幼児期・ 学童期・ 思春期	青壮年期	高齢期	
				○	○	
実績値 及び 次年度指標	項目	目標増減	R5実績	R6実績	R7実績	R8指標
	① 胃がん検診受診率	↑	12.4%	12.8%		
	② 大腸がん検診受診率	↑	17.2%	16.8%		
	③ 肺がん検診受診率	↑	15.4%	15.1%		
	④ 乳がん検診受診率	↑	40.8%	41.2%		
	⑤ 子宮がん検診受診率	↑	28.8%	29.3%		
評価	受診率はおおむね横ばいか上昇しているが、国の目標である60%には届いていない。					
今後の方向性	引き続きがん検診事業を継続し、がんの早期発見・早期治療を行い、がんの死亡率減少につなげる。					

重点分野6 発症予防・健診・重症化予防

事業名	60 特定健康診査	所管課	健康増進課			
内容	40歳以上の柏市国民健康保険加入者を対象に、生活習慣病予防を目的として健康診査を実施。受診率向上のため、R7はAI技術を活用した受診勧奨を実施。また、あらゆる機会を捉え、関係機関とも連携を図り、受診勧奨を実施している。					
期待する効果	生活習慣病の早期発見・早期治療につなげ、市民の健康の保持・増進、健康寿命の延伸を図る。					
関係課 関係機関 (民間企業含む)	柏市医師会・ちば県民保健予防財団等 地域包括支援課・地域包括支援センター	ライフステージ	乳幼児期・ 学童期・ 思春期	青壮年期	高齢期	
実績値 及び 次年度指標	項目	目標増減	R5実績	R6実績	R7実績	R8指標
	① 特定健康診査受診率	↑	44.2%	44.8%		
	② 受診勧奨通知数	—	28,779 通	33,273 通	32,552 通	
	③					
評価	・特定健康診査の周知・啓発、受診勧奨通知等の実施により、受診率向上を目指している。受診勧奨通知の工夫等により、今後の受診率向上を目指していく。					
今後の方向性	「柏市国民健康保険3期保健事業実施計画（データヘルス計画）」および「柏市国民健康保険第4期特定健診等実施計画」に基づき、特定健康診査の受診率向上を目指していく。					

事業名	61 新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業 (発症予防・健診・重症化予防)	所管課	健康増進課			
内容	① 受診勧奨・受診再勧奨 ② 無料クーポン事業（子宮頸がん、乳がん） ③ 要精密検査未受診者への受診勧奨事業					
期待する効果	がん検診を受けるきっかけとして、今まで受診したことがない人が受診することで、受診率向上に寄与する、要精密検査未受診者が受診することで、がんの早期発見、早期治療へつなげる					
関係課 関係機関 (民間企業含む)	柏市医師会 ちば県民保健予防財団 医療センター	ライフステージ	乳幼児期・ 学童期・ 思春期	青壮年期	高齢期	
実績値 及び 次年度指標	項目	目標増減	R5実績	R6実績	R7実績	R8指標
	① クーポン利用受診率（子宮頸がん）	↑	5.9%	6.2%		
	② クーポン利用受診率（乳がん）	↑	28.3%	30.9%		
	③					
評価	子宮頸がん検診および乳がん検診において、特定の年齢のかたに無料クーポン、検診手帳（啓発用）を送付し、がん検診の周知啓発、受診勧奨、検診の実施を行う。該当のがん検診を知り、受診するきっかけづくりとなっている。また初回を無料で受診できることから受診率向上に寄与し、早期の検診習慣化につながっている。					
今後の方向性	国の施策であり、事業が終了しない限り、継続して実施する。検診手帳については、国から提供されているデザインを加味しながら、市独自の視点も盛り込み、検診受診率の向上に努める。					

重点分野6 発症予防・健診・重症化予防

事業名	62 プレ特定健康診査	所管課	健康増進課			
内容	18歳から39歳の柏市国民健康保険加入者を対象に、生活習慣病予防を目的とした健診を実施。 また、受診率の向上のため、あらゆる機会をとらえ、受診勧奨を実施。					
期待する効果	若い世代からの健診受診の習慣化、生活習慣病の予防・早期発見・早期治療や、受診率の低い40歳から50歳代の受診率向上につなげることで、市民の健康の保持・増進、健康寿命の延伸を図る。					
関係課 関係機関 (民間企業含む)	柏市医師会・ちば県民保健予防財団等	ライフステージ	乳幼児期・ 学童期・ 思春期	青壮年期	高齢期	
実績値 及び 次年度指標	項目	目標増減	R5実績	R6実績	R7実績	R8指標
	① プレ特定健康診査の受診率		—	—	9.7% (集計途中)	14.6%
	② 受診勧奨通知数		671通	569通	6,491通	
	③					
評価	R6年度まで、39歳のみをプレ健康診査の対象者とし、自己負担(1,400円)を設けて実施していたが、R7年度より、18歳から39歳まで自己負担なく特定健康診査同様の健康診査を受けられる体制とし、支援の強化が図れている。今後の受診率の推移をみて評価していく。					
今後の方向性	「柏市国民健康保険3期保健事業実施計画(データヘルス計画)」および「柏市国民健康保険第4期特定健診等実施計画」に基づき、プレ特定健康診査の受診率向上を目指していく。					

事業名	63 糖尿病性腎症重症化予防プログラム	所管課	健康増進課			
内容	糖尿病性腎症重症化を予防し、人工透析の導入を抑制を目的とし、健康診断の結果で腎症の疑いのある対象者へ健康講座や専門職による保健指導を実施する。					
期待する効果	正しい知識の普及や生活習慣の見直しや早期受診により、糖尿病性腎症等の重症化が予防できる					
関係課 関係機関 (民間企業含む)	柏市医師会(柏市立柏病院, 東京慈恵会医科大学附属 柏病院, かかりつけ医等)	ライフステージ	乳幼児期・ 学童期・ 思春期	青壮年期	高齢期	
実績値 及び 次年度指標	項目	目標増減	R5実績	R6実績	R7実績	R8指標
	① 参加者の受診率	↑	35.7%	39.1%		47.0%
	② 新規透析導入数	↓	50人	62人		51人
	③					
評価	プログラム参加による参加者の行動変容や、検査データの改善、受診行動等の視点で評価を実施していく。今後の継続的な受診状況や生活習慣の見直し状況等の変化をみていく。					
今後の方向性	「柏市国民健康保険3期保健事業実施計画(データヘルス計画)」および「柏市国民健康保険第4期特定健診等実施計画」に基づき、糖尿病性腎症重症化予防プログラム参加者の受診率向上、新規人工透析数の減少を目指していく。					

重点分野6 発症予防・健診・重症化予防

事業名	64 重症化予防事業	所管課	健康増進課			
内容	特定健康診査を受診した結果、重症化リスクの高い、医療機関未受診者に対して、通知および電話による受診勧奨と保健指導を行う等により、治療を促し、重症化を予防する。					
期待する効果	受診勧奨による治療につなげ、生活習慣病の重症化を予防できる。					
関係課 関係機関 (民間企業含む)	柏市医師会等	ライフステージ	乳幼児期・ 学童期・ 思春期	青壮年期	高齢期	
実績値 及び 次年度指標	項目	目標増減	R5実績	R6実績	R7実績	R8指標
	① 受診勧奨者のうち医療機関受診割合	↑	78.8%	71.4%		78.5%
	②					
	③					
評価	受診勧奨により、医療機関の受診につなげられた方は、令和6年度は、71.4%であり、一定の効果が得られている。令和7年度は、特定健診等保健事業検討会にて、重症化予防の対象者を拡大することとなったため、受診割合の推移等を確認し、より効果的なアプローチを検討していく					
今後の方向性	「柏市国民健康保険3期保健事業実施計画（データヘルス計画）」および「柏市国民健康保険第4期特定健診等実施計画」に基づき、受診勧奨により、医療機関受診割合の向上を目指していく。					

事業名	65 プレコンセプションケア推進事業（発症予防・健診・重症化予防）	所管課	母子保健課			
内容	男女を問わず、若い世代が将来の健やかな妊娠や出産を含めたライフデザインを主体的に選択できるよう、プレコンゼミ（動画視聴）による啓発とプレコン健診の費用助成を行うもの。					
期待する効果	<ul style="list-style-type: none"> ・プレコンセプションゼミを通して、男女を問わず若い世代が早い段階から正しい知識のもとで健康的な生活を送ることの必要性を認識できる。 ・プレコンセプション健診を通して、妊孕性を含めた健康状態を把握し、主体的にライフデザインを選択できる。 					
関係課 関係機関 (民間企業含む)	柏市医師会、千葉県助産師会、柏市民健康づくり推進員連絡協議会、柏市PTA連絡協議会、柏市民生委員児童委員協議会、グループSEC、教育委員会、こども政策課	ライフステージ	乳幼児期・ 学童期・ 思春期	青壮年期	高齢期	
実績値 及び 次年度指標	項目	目標増減	R5実績	R6実績	R7実績	R8指標
	① 「プレコンセプションゼミ」視聴申請数				200人 (見込)	200人 (見込)
	② 「プレコンセプションゼミ」理解度				80% (見込)	80% (見込)
	③					
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・プレコンセプションゼミは令和7年9月より新規に開始した事業であるが、受付開始後約4日目に100人より視聴申請があり、想定より市民の関心は高いと考えられる。申請者の75%が既婚者で妊娠を含めたライフデザインを考える上でニーズが高かったと考えられる。24歳以下の申請者は6%と少なく、より若い世代への啓発が今後の課題である。 					
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・プレコンセプションケアに関する小中高への思春期教育を含めた市民への啓発 ・「プレコンセプションゼミ」及び「プレコンセプション健診」の効果的な実施 					

重点分野6 発症予防・健診・重症化予防

事業名	66 地域・職域連携推進事業	所管課	健康増進課			
内容	月に1回健康情報のメール配信や依頼があった企業へ出前講座の実施・啓発物品の貸出，好事例事業所の情報発信を行う。また，地域・職域連携推進連絡協議会の実施する。					
期待する効果	<ul style="list-style-type: none"> ・支援が届きにくい青壮年期への健康づくり ・協議会を通じて課題の「見える化」や関係機関の連携を強化 					
関係課 関係機関 (民間企業含む)	全国健康保険協会千葉支部，柏労働基準監督署，柏労働基準協会，東葛北部地域産業保健センター，柏商工会議所，柏市沼南商工会，民間企業，柏市医師会，柏歯科医師会	ライフステージ	乳幼児期・ 学童期・ 思春期	青壮年期	高齢期	
			○	○	○	
実績値 及び 次年度指標	項目	目標増減	R5実績	R6実績	R7実績	R8指標
	① 健康情報メール配信	↑	12	12		
	② 出前講座	↑	0	4		
	③					
評価	地域・職域連絡協議会での内容を反映しているが，各事業所における健康づくりへの取り組みやその成果を把握できていないため，効果検証ができていないため，事業所へのアンケートや調査，協議会の開催方法の検討等が必要。					
今後の方向性	他市の照会や現状を踏まえ柏市に必要事業内容の精査，地域・職域連携推進連絡協議会の在り方について検討していく。					

事業名	67 【再掲】プレコンセプションケア推進事業（発症 予防・健診・重症化予防）	所管課	母子保健課			
内容	男女を問わず，若い世代が将来の健やかな妊娠や出産を含めたライフデザインを主体的に選択できるよう，プレコンゼミ（動画視聴）による啓発とプレコン健診の費用助成を行うもの。					
期待する効果	<ul style="list-style-type: none"> ・プレコンセプションゼミを通して，男女を問わず若い世代が早い段階から正しい知識のもとで健康的な生活を送ることの必要性を認識できる。 ・プレコンセプション健診を通して，妊孕性を含めた健康状態を把握し，主体的にライフデザインを選択できる。 					
関係課 関係機関 (民間企業含む)	柏市医師会，千葉県助産師会，柏市民健康づくり推進員連絡協議会，柏市PTA連絡協議会，柏市民生委員児童委員協議会，グループSEC，教育委員会，こども政策課	ライフステージ	乳幼児期・ 学童期・ 思春期	青壮年期	高齢期	
			○	○		
実績値 及び 次年度指標	項目	目標増減	R5実績	R6実績	R7実績	R8指標
	① 「プレコンセプションゼミ」視聴申請数				200人 (見込)	200人 (見込)
	② 「プレコンセプションゼミ」理解度				80% (見込)	80% (見込)
	③					
評価	・プレコンセプションゼミは令和7年9月より新規に開始した事業であるが，受付開始後約4日目に100人より視聴申請があり，想定より市民の関心は高いと考えられる。申請者の75%が既婚者で妊娠を含めたライフデザインを考える上でニーズが高かったと考えられる。24歳以下の申請者は6%と少なく，より若い世代への啓発が今後の課題である。					
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・プレコンセプションケアに関する小中高への思春期教育を含めた市民への啓発 ・「プレコンセプションゼミ」及び「プレコンセプション健診」の効果的な実施 					

重点分野6 発症予防・健診・重症化予防

事業名	68 1歳6か月児健康診査・3歳児健康診査（発症予防・健診・重症化予防）	所管課	母子保健課			
内容	・身体計測，歯科診察・歯科相談，育児相談，栄養相談，小児科診察，発達相談等を通して児の心身ともに健康な成長と保護者の育児を支援する。					
期待する効果	・児の心身の異常の早期発見，早期支援 ・保護者の育児負担，育児不安への支援による虐待予防					
関係課 関係機関 (民間企業含む)	柏市医師会，柏歯科医師会，こども発達センター	ライフステージ	乳幼児期・ 学童期・ 思春期	青壮年期	高齢期	
			○			
実績値 及び 次年度指標	項目	目標増減	R5実績	R6実績	R7実績	R8指標
	① 1歳6か月児健康診査受診率	減	97.60%	93.50%	98.2% (~9月)	
	② 3歳児健康診査受診率	減	95.30%	90.10%	96.6% (~9月)	
	③					
評価	<p>・R5年度よりR6年度は両健診とも受診率は減少しているが，他機関や他市区町村で受診している児やR7年4月以降（年度を越えた受診期間内）に受診した児を含めると，受診率は横ばいとなっている。</p> <p>・育児相談にて保護者の育児負担感や不安がある場合には，話を傾聴し利用可能なサービスの紹介や地域担当保健師からの支援を提案している。また，不適切なかかわりが見られた際には対応を助言し，その後の実践状況や今後の対応を地域担当保健師とともに考えることを提案することで育てにくさ軽減や虐待予防に努めている。</p> <p>・健診にて要精密検査となった児で2か月後まで受診がない児に対して，電話連絡し受診勧奨を実施，発達に課題がある児に対しても丁寧に対応し，現在検査が難しい場合でも一度受診し，その後の方針を医師と相談することを勧めている。</p>					
今後の方向性	<p>・受診率向上のための受診勧奨はがき送付の継続</p> <p>・育児相談の精度管理(虐待の早期発見のためのリスクアセスメント用紙の活用，報告フローにもとづいた緊急時の対応 等)</p>					

重点分野7 女性の健康

事業名	69 がん検診事業（女性）	所管課	健康増進課			
内容	働く女性・子育て中の女性が安心して検診を受けられる環境を整える。具体的には複数のがん検診を一度に受診できるようにする「レディース検診」の実施，子育て中でも受診できるよう，連絡不要で子どもと来場できる「子づれ可能な日」を設定する（令和7年度新規）。また働く世代が受診しやすい時間帯の確保として土曜日の検診実施を行う。					
期待する効果	女性のがん検診受診率（とくに女性特有のがん検診受診率）が上昇する。子育て世代から「受けやすくなった」という満足度が向上する。					
関係課 関係機関 (民間企業含む)	柏市医師会 ちば県民保健予防財団 医療センター	ライフステージ	乳幼児期・ 学童期・ 思春期	青壮年期	高齢期	
実績値 及び 次年度指標	項目	目標増減	R5実績	R6実績	R7実績	R8指標
	① 乳がん検診受診率	↑	40.8%	41.2%		
	② 子宮がん検診受診率	↑	28.8%	29.3%		
	③ 「お子様連れのがん検診に関するアンケート調査」の結果「また利用したい」の回答率	↑	—	—		
評価	受診率はおおむね横ばいか上昇しているが，国の目標である60%には届いていない。					
今後の方向性	引き続きがん検診事業を継続し，がんの早期発見・早期治療を行い，がんの死亡率減少につなげる。					

事業名	70 新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業（女性）	所管課	健康増進課			
内容	① 受診勧奨・受診再勧奨 ② 無料クーポン事業（子宮頸がん，乳がん） ③ 要精密検査未受診者への受診勧奨事業					
期待する効果	がん検診を受けるきっかけとして，今まで受診したことがない人が受診することで，受診率向上に寄与する，要精密検査未受診者が受診することで，がんの早期発見，早期治療へつなげる					
関係課 関係機関 (民間企業含む)	柏市医師会 ちば県民保健予防財団 医療センター	ライフステージ	乳幼児期・ 学童期・ 思春期	青壮年期	高齢期	
実績値 及び 次年度指標	項目	目標増減	R5実績	R6実績	R7実績	R8指標
	① クーポン利用受診率（子宮頸がん）	↑	5.9%	6.2%		
	② クーポン利用受診率（乳がん）	↑	28.3%	30.9%		
	③					
評価	子宮頸がん検診および乳がん検診において，特定の年齢のかたに無料クーポン，検診手帳（啓発用）を送付し，がん検診の周知啓発，受診勧奨，検診の実施を行う。該当のがん検診を知り，受診するきっかけづくりとなっている。また初回を無料で受診できることから受診率向上に寄与し，早期の検診習慣化につながっている。					
今後の方向性	国の施策であり，事業が終了しない限り，継続して実施する。検診手帳については，国から提供されているデザインを加味しながら，市独自の視点も盛り込み，検診受診率の向上に努める。					

重点分野7 女性の健康

事業名	71 骨粗しょう症検査	所管課	健康増進課			
内容	傾向増進法に基づき、40歳から70歳までの5歳刻み年齢の女性を対象に、骨粗しょう症予防を目的に検査を実施する					
期待する効果	骨粗しょう症の早期発見、早期治療					
関係課 関係機関 (民間企業含む)	柏市医師会	ライフステージ	乳幼児期・ 学童期・ 思春期	青壮年期	高齢期	
				○	○	
実績値 及び 次年度指標	項目	目標増減	R5実績	R6実績	R7実績	R8指標
	① 骨粗しょう症検査受診率	↑	22.9	22.9		
	② 骨健康度測定者数	↑	—	—		
	③					
評価	集団検診においては、乳がん検診と同日実施をするなど工夫を行い、対象年齢の女性が受診しやすい機会の提供を行うことができた。また、令和7年度から予防域の方へ実施していた「ヘルスアップ相談」を、検診事後フォローで実施している「健康づくり相談」へ一本化し、相談枠を拡充。検査後のフォローが適宜実施できる体制づくりを行った。					
今後の方向性	骨粗しょう症の正しい知識の普及・啓発を行い、必要性を伝えていく。また受けやすい検診の場の提供として、現在実施している他検診との同日実施や検査後予防域と診断された方のフォロー体制を充実し、予防や早期治療へつなげていく。					

事業名	72 プレコンセプションケア推進事業（女性）	所管課	母子保健課			
内容	男女を問わず、若い世代が将来の健やかな妊娠や出産を含めたライフデザインを主体的に選択できるよう、プレコンゼミ（動画視聴）による啓発とプレコン健診の費用助成を行うもの。					
期待する効果	<ul style="list-style-type: none"> ・プレコンセプションゼミを通して、男女を問わず若い世代が早い段階から正しい知識のもとで健康的な生活を送ることの必要性を認識できる。 ・プレコンセプション健診を通して、妊孕性を含めた健康状態を把握し、主体的にライフデザインを選択できる。 					
関係課 関係機関 (民間企業含む)	柏市医師会、千葉県助産師会、柏市民健康づくり推進員連絡協議会、柏市PTA連絡協議会、柏市民生委員児童委員協議会、グループSEC、教育委員会、こども政策課	ライフステージ	乳幼児期・ 学童期・ 思春期	青壮年期	高齢期	
			○	○		
実績値 及び 次年度指標	項目	目標増減	R5実績	R6実績	R7実績	R8指標
	① 「プレコンセプションゼミ」視聴申請数				200人 (見込)	200人 (見込)
	② 「プレコンセプションゼミ」理解度				80% (見込)	80% (見込)
	③					
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・プレコンセプションゼミは令和7年9月より新規に開始した事業であるが、受付開始後約4日目に100人より視聴申請があり、想定より市民の関心は高いと考えられる。申請者の75%が既婚者で妊娠を含めたライフデザインを考える上でニーズが高かったと考えられる。24歳以下の申請者は6%と少なく、より若い世代への啓発が今後の課題である。 					
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・プレコンセプションケアに関する小中高への思春期教育を含めた市民への啓発 ・「プレコンセプションゼミ」及び「プレコンセプション健診」の効果的な実施 					